



プログラミングリファレンスガイド

HP Engage One 2Dバーコードスキャナー

© Copyright 2017, 2018 HP Development Company, L.P.

MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

改訂第2版：2018年7月

初版：2017年8月

製品番号：937402-293

目次

テクニカル サポート	vii
HPのサポート窓口へのお問い合わせ	vii
1. お使いになる前に.....	1-1
このガイドについて	1-1
デバイスの梱包を解く	1-1
デバイスの接続	1-1
USBでの接続.....	1-1
読み取り方法.....	1-2
メニューバーコードのセキュリティ設定.....	1-2
カスタム初期設定の指定	1-2
カスタム初期設定へのリセット.....	1-3
2. インターフェイスのプログラミング	2-1
はじめに.....	2-1
インターフェイスのプログラミング：プラグアンドプレイ	2-1
キーボードウェッジ	2-1
ノートブック直接接続.....	2-1
USB PCまたはMacintoshキーボード	2-1
USB HID	2-2
USBシリアル（COM）	2-2
CTS/RTSエミュレーション	2-2
ACK/NAKモード	2-2
キーボードの言語レイアウト	2-3
キーボードの言語	2-3
キーボードスタイル	2-10
キーボード変換	2-11
制御文字の出力	2-12
キーボード修飾子.....	2-12
RS232修飾子	2-13
RS232ボーレート	2-13
RS232ワード長：データビット、ストップビット、およびパリティ	2-14
RS232レシーバー タイムアウト	2-15
RS232ハンドシェイク	2-15
RS232タイムアウト	2-16
XON/XOFF	2-16
ACK/NAK.....	2-17
3. 入出力設定.....	3-1
電源投入ビープ音.....	3-1
BEL文字でのビープ音	3-1
トリガー クリック音	3-1
読み取り成功およびエラーのインジケーター	3-2
ビープ音：読み取り成功	3-2
ビープ音量：読み取り成功	3-2
ビープ音程：読み取り成功	3-2
ビープ音程：エラー	3-3

ビーブ音の長さ：読み取り成功.....	3-3
LED：読み取り成功.....	3-3
ビーブ音の回数：読み取り成功.....	3-4
ビーブ音の回数：エラー.....	3-4
読み取り成功遅延.....	3-4
ユーザー指定の読み取り成功遅延.....	3-4
手動トリガーモード.....	3-5
LED照明：手動トリガー.....	3-5
シリアルトリガーモード.....	3-5
読み取りタイムアウト.....	3-5
プレゼンテーションモード.....	3-6
アイドル時の照明：プレゼンテーションモード.....	3-6
プレゼンテーション感度.....	3-6
プレゼンテーションセンタリング.....	3-6
スタンド装着時のセンサーモード.....	3-8
低品質コード.....	3-8
低品質1Dコード.....	3-8
低品質PDFコード.....	3-9
CodeGate®.....	3-9
携帯電話読み取りモード.....	3-9
ハンズフリータイムアウト.....	3-9
再読み取り遅延.....	3-10
ユーザー指定の再読み取り遅延.....	3-10
2D再読み取り遅延.....	3-10
文字有効化モード.....	3-11
有効化文字.....	3-11
読み取り成功後に文字有効化を終了.....	3-12
文字有効化タイムアウト.....	3-12
文字無効化モード.....	3-12
無効化文字.....	3-12
照明光.....	3-13
照準遅延.....	3-13
ユーザー指定の照準遅延.....	3-13
照準モード.....	3-13
センタリング.....	3-14
No Read.....	3-15
ビデオ反転.....	3-16
読み取り方向.....	3-16

4. データ編集..... 4-1

プレフィックス/サフィックスの概要.....	4-1
プレフィックスまたはサフィックスを追加する方法.....	4-1
1つまたはすべてのプレフィックスまたはサフィックスを消去するには.....	4-2
すべての読み取りコードにキャリッジリターン サフィックスを追加するには.....	4-2
プレフィックスの選択項目.....	4-2
サフィックスの選択項目.....	4-2
ファンクションコードの送信.....	4-3
文字間、ファンクション間、およびメッセージ間の遅延.....	4-3

文字間遅延	4-3
ユーザー指定の文字間遅延	4-3
ファンクション間遅延	4-4
メッセージ間遅延	4-4
5. データフォーマット	5-1
データフォーマットエディターの概要	5-1
データフォーマットの追加	5-1
その他のプログラミング選択項目	5-2
端末ID表	5-3
データフォーマットエディターのコマンド	5-3
移動コマンド	5-4
検索コマンド	5-5
その他のコマンド	5-7
データフォーマッター	5-9
メインのデータフォーマット/代替のデータフォーマット	5-9
6. 読み取りコード	6-1
すべての読み取りコード	6-1
メッセージ長の説明	6-1
Codabar	6-2
Codabarの連結	6-3
Code 39	6-4
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)	6-5
Full ASCII	6-6
Code 39のコードページ	6-6
Interleaved 2 of 5	6-7
NEC 2 of 5	6-8
Code 93	6-9
Code 93のコードページ	6-10
Straight 2 of 5 Industrial (3バー開始/終了)	6-11
Straight 2 of 5 IATA (2バー開始/終了)	6-12
Matrix 2 of 5	6-13
Code 11	6-14
Code 128	6-15
ISBT 128の連結	6-15
Code 128のコードページ	6-16
GS1-128	6-17
UPC-A	6-17
拡張クーポンコード付きUPC-A/EAN-13	6-19
クーポンGS1 DataBar出力	6-20
UPC-E0	6-20
UPC-E1	6-22
EAN/JAN-13	6-23
UPC-AからEAN-13への変換	6-23
ISBN変換	6-25
EAN/JAN-8	6-25
MSI	6-27

GS1 DataBar Omnidirectional	6-29
GS1 DataBar Limited	6-29
GS1 DataBar Expanded	6-30
Codablock A.....	6-30
Codablock F.....	6-31
PDF417	6-32
MacroPDF417	6-32
MicroPDF417.....	6-33
GS1コンポジットコード.....	6-33
UPC/EANのバージョン.....	6-34
GS1エミュレーション	6-34
TCIF Linked Code 39 (TLC39)	6-35
QRコード.....	6-35
QRコード ページ.....	6-36
Data Matrix.....	6-37
Data Matrixのコード ページ.....	6-38
MaxiCode	6-38
Aztecコード.....	6-39
Aztecのコード ページ.....	6-40
Chinese Sensible (Han Xin) コード.....	6-40
郵便コード (2D)	6-41
2D郵便コード (単独)	6-41
2D郵便コード (組み合わせ)	6-42
郵便コード (線形)	6-45
China Post (Hong Kong 2 of 5)	6-45
Korea Post	6-46

7. ユーティリティ..... 7-1

すべての読み取りコードにテストコードIDプレフィックスを追加する.....	7-1
デコーダーのリビジョンの表示.....	7-1
スキャンドライバのリビジョンの表示.....	7-1
ソフトウェアのリビジョンの表示.....	7-1
データフォーマットの表示.....	7-1
テストメニュー	7-2
[HP EZConfig-Scanning]の概要.....	7-2
Webからの[HP EZConfig-Scanning]のインストール.....	7-2
工場出荷時設定へのリセット.....	7-3

8. シリアルプログラミング コマンド..... 8-1

表記法	8-1
メニュー コマンドの構文.....	8-1
クエリ コマンド.....	8-1
応答.....	8-2
クエリ コマンドの例.....	8-2
トリガー コマンド.....	8-3
カスタム初期設定へのリセット.....	8-3
メニュー コマンド.....	8-3

9.	製品仕様	9-1
	HP Engage One 2Dバーコード スキャナー 製品仕様.....	9-1
	ケーブルの標準のピン配列.....	9-2
	シリアル出力.....	9-2
	USB.....	9-2
10.	メンテナンスとトラブルシューティング	10-1
	修理.....	10-1
	メンテナンス.....	10-1
	デバイスの清掃.....	10-1
	ケーブルおよびコネクタの点検.....	10-1
	コード付きスキャナーのケーブル交換.....	10-1
	コード付きスキャナーのトラブルシューティング.....	10-1
A	リファレンス表	A-1
	読み取りコード表.....	A-1
	線形読み取りコード.....	A-1
	2D読み取りコード.....	A-2
	郵便読み取りコード.....	A-2
	ASCII変換表（コード ページ1252）.....	A-3
	下位のASCII参照表.....	A-4
	ISO 2022/ISO 646の文字置換.....	A-7
	Unicodeキー マップ.....	A-9

読み取りコードの例

プログラミング チャート



テクニカル サポート

HPのサポート窓口へのお問い合わせ

ハードウェアまたはソフトウェアの問題を解決するには、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスしてください。このサイトでは、トラブルシューティングの手順など、お使いの製品に関する詳細情報を確認できます。また、このサイトの[お問い合わせ一覧]からHPへのお問い合わせ方法を確認できます。なお、お使いのモデルにより提供されるサービスは異なります。



お使いになる前に

このガイドについて

このガイドでは、HP Engage One 2Dバーコード スキャナーのインストールおよびプログラミングの手順について説明します。

HPのバーコード スキャナーは、最も一般的な端末および通信の設定に合わせて工場出荷時にプログラムされています。これらの設定を変更する必要がある場合は、このガイドに記載されているバーコードをスキャンすることでプログラミングできます。

オプションの横のアスタリスク (*) は初期設定を示しています。

デバイスの梱包を解く

製品の入っている梱包箱を開いた後、以下の手順を実行します。

- ・ 輸送中に破損していないか確認します。破損がある場合は、梱包を届けた配送業者にすぐに報告してください。
- ・ 梱包の内容が注文と一致していることを確認します。
- ・ 後で保管や輸送に使用できるように梱包を保存しておきます。

デバイスの接続

USBでの接続

スキャナーはコンピューターのUSBポートに接続します。

1. コンピューターの電源を切ります。
2. スキャナーのUSBケーブルをI/O接続ベースのUSB Type-Aポートに接続します。



読み取り方法

ビュー ファインダーから、照準LED光が照射されます。この照準LED光をバーコードの中心に合わせてください。読み取りやすくするために角度を調整することもできます。スキャナーをバーコード上にかざした状態でボタンを押し、照準LED光をバーコードの中心に合わせます。

照準LED光の照射範囲は、スキャナーとバーコードが近づくと狭くなり、遠ざかると広がります。小さなバーコードの場合はスキャナーを近づけ、大きなバーコードの場合は遠ざけると、正しく読み取れるようになります。

バーコードの反射率が高い場合（ラミネート加工されている場合など）は、バーコードをスキャンできるようにスキャナーを傾ける必要があることがあります。



メニュー バーコードのセキュリティ設定

HPのスキャナーは、メニュー バーコードをスキャンするか、スキャナーにシリアル コマンドを送信することによってプログラムされます。メニュー コードをスキャンする機能を制限するには、[メニュー バーコードのセキュリティ]設定を使用できます。詳しくは、HPのサポートWebサイト、<http://www.hp.com/jp/support/> を参照してください。

カスタム初期設定の指定

ユーザー独自のカスタム初期設定としてメニュー コマンドのセットを作成できます。これを行うには、下記の[カスタム初期設定の指定]バーコードをスキャンしてから、カスタム初期設定とするメニュー コマンドをスキャンします。裏表紙にある数字コードをスキャンした後で[保存]コードをスキャンする必要があるメニュー コマンドの場合は、そのシーケンス全体がカスタム初期設定に保存されます。カスタム初期設定に保存するコマンドをすべて入力したら、[カスタムの初期設定の保存]バーコードをスキャンします。



一連のカスタム設定のうち1つの設定だけを修正することもできます。これを行うには、新しい設定をスキャンして古い設定を上書きします。たとえば、ピープ音量を小音量とする設定をカスタム初期設定に保存してあった場合にピープ音量を大音量に設定するには、[カスタム初期設定の指定]バーコードをスキャンしてから、[ピープ音量大]メニュー コード、[カスタムの初期設定の保存]の順にスキャンします。その他のカスタム初期設定は変更されませんが、ピープ音量の設定が更新されます。

カスタム初期設定へのリセット

お使いのスキャナーにカスタム初期設定を復元するには、下記の[カスタム初期設定の有効化]バーコードをスキャンします。これはほとんどのユーザーに推奨される初期設定のバーコードです。これによってスキャナーはカスタム初期設定にリセットされます。カスタム初期設定が設定されていない場合、スキャナーは工場出荷時の設定にリセットされます。カスタム初期設定で指定されていない設定はすべて工場出荷時の設定に戻ります。



DEFAULT.

カスタム初期設定の有効化



インターフェイスのプログラミング

はじめに

この章では、使用するインターフェイスに合わせてシステムをプログラムする方法について説明します。

インターフェイスのプログラミング：プラグアンドプレイ

プラグ アンド プレイのバーコードを使用すると、一般的に使用されるインターフェイスに合わせてスキャナーを簡単にセットアップできます。

注：コードをスキャンした後、インターフェイスを有効にするにはホスト端末の電源を入れ直します。

キーボードウェッジ

USAキーボードを使用するIBM PC ATおよび互換機のキーボード ウェッジ インターフェイス用にシステムをプログラムするには、下記のバーコードをスキャンします。キーボードウェッジは初期設定のインターフェイスです。

注：次のバーコードはキャリッジリターン（CR）サフィックスもプログラムします。



PAP_AT.

IBM PC ATおよび互換機、CRサフィックスあり

ノートブック直接接続

ほとんどのノートブックでは、[ノートブック直接接続]バーコードをスキャンすることで、内蔵キーボードと並行してスキャナーを動作させることができます。次の[ノートブック直接接続]バーコードは、キャリッジ リターン（CR）サフィックスもプログラムし、[外付けキーボードのエミュレート]（2-11ページ）をオンにします。



PAPLTD.

ノートブック直接接続、CRサフィックスあり

USB PCまたはMacintoshキーボード

USB PCキーボードまたはUSB Macintoshキーボード用にスキャナーをプログラムするには、以下のコードをスキャンします。これらのコードをスキャンすると、CRおよびLFも追加されます。



PAP124.

USBキーボード（PC）



PAP125.

USBキーボード（Mac）



TRMUSB134.

USB日本語キーボード（PC）

USB HID

USB HIDバーコード スキャナー用にスキャナーをプログラムするには、以下のコードをスキャンします。



PAP131.

USB HIDバーコード スキャナー

USBシリアル (COM)

通常のRS232ベースのCOMポートをエミュレートするようにスキャナーをプログラムするには、以下のコードをスキャンします。Microsoft® Windows® PCを使用している場合は、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/jp/support/> からドライバーをダウンロードする必要があります。ドライバーは次に使用可能なCOMポート番号を使用します。Apple® Macintoshコンピューターは、スキャナーをUSB CDCクラスのデバイスとして認識し、自動的にクラス ドライバーを使用します。



TERMID130.

USBシリアル

注：追加の構成（ボーレートなど）は必要ありません。

CTS/RTSエミュレーション



USBCTS1.

CTS/RTSエミュレーション オン



USBCTS0.

* CTS/RTSエミュレーション オフ

ACK/NAKモード



USBACK1.

ACK/NAKモード オン



USBACK0.

* ACK/NAKモード オフ

キーボードの言語レイアウト

お使いのインターフェイスがUSBキーボードまたはキーボード ウェッジの場合、キーボード レイアウトの初期設定はUSキーボードです。このレイアウトを変更するには、下の表を参照してお使いのキーボードの言語を探します。該当するバーコードをスキャンしてレイアウトを変更します。

初期設定では、#\$@[]^ ‘{}~の文字は各国語文字に置き換えられます。各国語の文字置換については、A-7ページの[ISO 2022/ISO 646の文字置換](#)を参照してください。

キーボードの言語



KBDCTY0.

*米国



KBDCTY81.

アゼリー語 (キリル)



KBDCTY82.

ベラルーシ



KBDCTY33.

ボスニア



KBDCTY59.

ブラジル (MS)



KBDCTY35.

アルバニア



KBDCTY80.

アゼリー語 (ラテン)



KBDCTY1.

ベルギー



KBDCTY16.

ブラジル



KBDCTY52.

ブルガリア (キリル)

キーボードの言語 (続き)



KBDCTY53.
ブルガリア (ラテン)



KBDCTY18.
カナダ (フランス語)



KBDCTY32.
クロアチア



KBDCTY40.
チェコ語 (プログラマー)



KBDCTY38.
チェコ語 (QWERTZ)



KBDCTY11.
オランダ語 (オランダ)



KBDCTY54.
カナダ (フランス語レガシー)



KBDCTY55.
カナダ (マルチリンガル)



KBDCTY15.
チェコ語



KBDCTY39.
チェコ語 (QWERTY)



KBDCTY8.
デンマーク

キーボードの言語 (続き)



KBDCTY83.
フェロー語



KBDCTY3.
フランス



KBDCTY4.
ドイツ



KBDCTY64.
ギリシャ語 (220ラテン)



KBDCTY65.
ギリシャ語 (319ラテン)



KBDCTY41.
エストニア



KBDCTY2.
フィンランド



KBDCTY84.
ゲール語



KBDCTY17.
ギリシャ語



KBDCTY61.
ギリシャ語 (220)



KBDCTY62.
ギリシャ語 (319)

キーボードの言語 (続き)



KBDCTY63.

ギリシャ語 (ラテン)



KBDCTY60.

ギリシャ語 (Polytonic)



KBDCTY50.

ハンガリー語 (101キー)



KBDCTY75.

アイスランド



KBDCTY56.

イタリア語 (142)



KBDCTY28.

日本ASCII



KBDCTY66.

ギリシャ語 (MS)



KBDCTY12.

ヘブライ語



KBDCTY19.

ハンガリー



KBDCTY73.

アイルランド語



KBDCTY5.

イタリア

キーボードの言語 (続き)



KBDCTY79.
キルギス語 (キリル)



KBDCTY42.
ラトビア



KBDCTY44.
リトアニア



KBDCTY34.
マケドニア



KBDCTY86.
モンゴル語 (キリル)



KBDCTY78.
カザフ語



KBDCTY14.
ラテンアメリカ



KBDCTY43.
ラトビア (QWERTY)



KBDCTY45.
リトアニア (IBM)



KBDCTY74.
マルタ



KBDCTY9.
ノルウェー

キーボードの言語 (続き)



KBDCTY20.

ポーランド



KBDCTY58.

ポーランド語 (プログラマー)



KBDCTY25.

ルーマニア



KBDCTY67.

ロシア語 (MS)



KBDCTY21.

SCS



KBDCTY36.

セルビア (ラテン)



KBDCTY57.

ポーランド語 (214)



KBDCTY13.

ポルトガル



KBDCTY26.

ロシア



KBDCTY68.

ロシア語 (タイプライター)



KBDCTY37.

セルビア (キリル)

キーボードの言語 (続き)



KBDCTY49.
スロバキア (QWERTY)



KBDCTY31.
スロベニア



KBDCTY51.
スペイン語バリエーション



KBDCTY29.
スイス (フランス語)



KBDCTY85.
タタール語



KBDCTY22.
スロバキア



KBDCTY48.
スロバキア (QWERTZ)



KBDCTY10.
スペイン



KBDCTY23.
スウェーデン



KBDCTY6.
スイス (ドイツ語)



KBDCTY27.
トルコF

キーボードの言語（続き）



KBDCTY24.

トルコQ



KBDCTY76.

ウクライナ語



KBDCTY7.

イギリス



KBDCTY87.

米国 (Dvorak)



KBDCTY88.

米国 (Dvorak左)



KBDCTY89.

米国 (Dvorak右)



KBDCTY30.

米国 (インターナショナル)



KBDCTY77.

ウズベク語 (キリル)

キーボードスタイル

これはCaps LockやShift Lockなどのキーボード スタイルをプログラムします。キーボード変換設定を使用している場合は、以下のキーボードスタイル設定より優先されます。初期設定は、[標準]です。

[標準]は、Caps Lockキーを通常オフにする場合に使用します。



KBDSTY0.

* 標準

[Caps Lock]は、Caps Lockキーを通常オンにする場合に使用します。



KBDSTY1.

Caps Lock

[Shift Lock]は、Shift Lockキーを通常オンにする場合に使用します（USキーボードでは一般的ではありません）。



[自動Caps Lock]は、Caps Lockキーのオン/オフを切り替える場合に使用します。Caps Lockのオンまたはオフの設定がソフトウェアで追跡されて反映されます。この選択項目は、Caps Lockの状態を示すLEDを備えたシステム（ATキーボード）でのみ使用できます。



Caps LockキーでCaps Lockを切り替えることができない国（ドイツ、フランスなど）では、[NumLockによる自動Caps]バーコードをスキャンしてください。このNumLockオプションは通常の自動Capsと同様に機能しますが、NumLockキーを使用するとCaps Lockの現在の状態を取得できます。



[外付けキーボードのエミュレート]は、外付けキーボード（IBM ATまたは同等のもの）がない場合にスキャンしてください。



注：[外付けキーボードのエミュレート]バーコードをスキャンした後は、コンピューターの電源を入れ直す必要があります。

キーボード変換

キーボードのアルファベット文字を強制的にすべて大文字またはすべて小文字にすることができます。たとえば、バーコード"abc569GK"は、[すべての文字を大文字に変換]をスキャンすると"ABC569GK"と出力され、[すべての文字を小文字に変換]をスキャンすると"abc569gk"と出力されます。

これらの設定は**キーボードスタイル**の選択項目より優先されます。

注：お使いのインターフェイスがキーボード ウェッジの場合は、[自動Caps Lock](#)（2-11ページ）のメニュー コードを最初にスキャンしてください。これを行わないと、出力が期待どおりにならない場合があります。

初期設定は、[キーボード変換オフ]です。



制御文字の出力

これを選択すると、制御文字の代わりにテキスト文字列が送信されます。たとえば、キャリッジ リターンの制御文字が想定されている場合、出力にはASCIIコード0Dの代わりに[CR]と表示されます。A-3ページの[ASCII変換表 \(コード ページ1252\)](#) を参照してください。00から1Fまでのコードのみが変換されます (表の第1列)。初期設定は、オフです。

注：このモードよりControl + ASCIIモードが優先されます。



KBDNPE1.
制御文字の出力オン



KBDNPE0.
*制御文字の出力オフ

キーボード修飾子

CTRL + ASCIIコードやターボモードなどの特殊なキーボード機能を変更します。

Control + ASCIIモード オン：スキャナーは値00～1FのASCII制御文字を表すキーの組み合わせを送信します。推奨されるモードはWindowsです。すべてのキーボード言語コードがサポートされます。DOSモードはレガシーモードであり、すべてのキーボード言語コードをサポートしているわけではありません。新しいユーザーはWindowsモードを使用するようにしてください。CTRL + ASCIIの値については、A-3ページの[ASCII変換表 \(コード ページ1252\)](#) を参照してください。

Windowsモード プレフィックス/サフィックス オフ：スキャナーは値00～1FのASCII制御文字を表すキーの組み合わせを送信しますが、プレフィックスやサフィックスの情報は変換しません。

初期設定は、[Control + ASCIIモード オフ]です。



KBDCAS2.
Windowsモード Control +
Xモード オン



KBDCAS0.
* Control + Xモード オフ



KBDCAS1.
DOSモード Control + Xモード オン



KBDCAS3.
Windowsモードプレフィックス/
サフィックスオフ

ターボモード：スキャナーは端末に文字を高速送信します。端末で文字が失われる場合は、ターボモードを使用しないでください。
初期設定は、オフです。



KBDTMD1.
ターボモードオン



KBDTMD0.
*ターボモードオフ

テンキーモード：テンキーから入力された場合と同様に数字を送信します。初期設定は、オフです。



KBDNPS1.
テンキーモードオン



KBDNPS0.
*テンキーモードオフ

自動直接接続モード：このモードを選択すると、IBMAT系端末で文字が失われる場合に使用できます。初期設定は、オフです。



KBDADC1.
自動直接接続モードオン



KBDADC0.
*自動直接接続モードオフ

RS232修飾子

RS232ボーレート

データはボーレートで指定された速度でスキャナーから端末に送信されます。ホスト端末はスキャナーと同じボーレートに設定されている必要があります。初期設定値は115200です。



232BAD0.
300



232BAD1.
600



232BAD2.

1200



232BAD4.

4800



232BAD6.

19200



232BAD8.

57,600



232BAD3.

2400



232BAD5.

9600



232BAD7.

38400



232BAD9.

* 115,200

RS232ワード長：データビット、ストップビット、およびパリティ

データビットでは、ワード長を1文字あたり7または8データビットに設定します。ASCII 16進文字0から7Fまでの10進数（テキスト、数字、および句読点）のみを必要とするアプリケーションでは、7データビットを選択します。ASCIIのフルセットを必要とするアプリケーションでは、1文字あたり8データビットを選択します。初期設定値は8です。

ストップビットでは、ストップビットを1または2に設定します。初期設定値は1です。

パリティを使用すると、文字のビットパターンが有効かどうかを確認できます。

初期設定は、なしです。



232WRD3.

7データ、1ストップ、パリティ偶数



232WRD6.

7データ、1ストップ、パリティ奇数



232WRD1.

7データ、2ストップ、パリティなし



232WRD5.

8データ、1ストップ、パリティ偶数



232WRD8.

8データ、1ストップ、パリティ奇数



232WRD0.

7データ、1ストップ、パリティなし



232WRD4.

7データ、2ストップ、パリティ偶数



232WRD7.

7データ、2ストップ、パリティ奇数



232WRD2.

*8データ、1ストップ、パリティなし

RS232レシーバー タイムアウト

ユニットは、RS232レシーバー タイムアウトの時間切れまで、データ受信のために起動状態のままになります。タイムアウトは手動トリガーによってリセットされます。RS232レシーバーがスリープ状態のときは、文字を送信することによってレシーバーを復帰させ、タイムアウトをリセットできます。CTSライン上のトランザクションもレシーバーを復帰させます。レシーバーが完全に復帰するには300ミリ秒かかります。RS232レシーバーのタイムアウトを変更するには、下記のバーコードをスキャンしてから、このガイドの裏表紙内側にある数字をスキャンした後で、**[保存]**をスキャンします。この範囲は0~300秒です。初期設定値は0秒（タイムアウトなし、常にオン）です。



232LPT.

RS232レシーバー タイムアウト

RS232ハンドシェイク

RS232ハンドシェイクでは、ホスト デバイスからソフトウェア コマンドを使用して、スキャナーからのデータ送信を制御できます。RTS/CTSが**オフ**のときは、データ フロー制御は使用されません。

フロー制御、タイムアウトなし：スキャナーは、データを送信する必要があるときにRTSをアサートし、ホストによってCTSがアサートされるまで無期限に待機します。

2方向フロー制御：スキャナーは、ホストからの送信が可能なときにRTSをアサートします。ホストは、デバイスからの送信が可能なときにCTSをアサートします。

フロー制御、タイムアウトあり：スキャナーは、データを送信する必要があるときにRTSをアサートし、ホストによってCTSがアサートされるまでの遅延時間（2-16ページの**RS232タイムアウト**を参照してください）のみ待機します。CTSがアサートされずに遅延時間が経過すると、デバイスの送信バッファはクリアされ、スキャンが再開します。初期設定は、[RTS/CTSオフ]です。



232CTS1.

フロー制御、タイムアウトなし



232CTS3.

フロー制御、タイムアウトあり



232CTS2.

2方向フロー制御



232CTS0.

* RTS/CTSオフ

RS232タイムアウト

[フロー制御、タイムアウトあり]を使用する場合は、ホストからのCTSを待機する遅延時間をプログラムする必要があります。タイムアウトの時間（ミリ秒単位）を設定するには、下記のバーコードをスキャンしてから、裏表紙内側にある数字をスキャンしてタイムアウト（1～5100ミリ秒）を設定した後で、**[保存]**をスキャンします。



232DEL.

RS232タイムアウト

XON/XOFF

標準のASCII制御文字を使用して、スキャナーにデータ送信の開始（XON/XOFF**オン**）またはデータ送信の停止（XON/XOFF**オフ**）を指示できます。ホストがスキャナーにXOFF文字（DC3、16進数の13）を送信すると、データ送信が停止します。送信を再開するには、ホストがXON文字（DC1、16進数の11）を送信します。データ伝送は、XOFFの送信によって中断されたところから続行されません。初期設定は、[XON/XOFFオフ]です。



232XON1.

XON/XOFFオン



232XON0.

* XON/XOFFオフ

ACK/NAK

データを送信した後、スキャナーはホストからの応答としてACK文字（16進数の06）またはNAK文字（16進数の15）を待機します。ACKを受信した場合、その通信サイクルは完了し、スキャナーはさらにバーコードを探します。NAKを受信した場合、スキャナーは最後のバーコード データ セットを再送し、ACK/NAKをもう一度待機します。ACK/NAKプロトコルをオンにするには、下記の [ACK/NAK オン]バーコードをスキャンします。プロトコルをオフにするには、[ACK/NAK オフ]をスキャンします。初期設定は、[ACK/NAKオフ]です。



232ACK1.
ACK/NAKオン



232ACK0.
* ACK/NAKオフ



入出力設定

電源投入ビープ音

スキャナーは電源投入時にビープ音を鳴らすようにプログラムできます。電源投入ビープ音が不要な場合は、**オフ** バーコードをスキャンします。

初期設定は、[電源投入ビープ音オン：スキャナー]です。



BEPPWR0.

電源投入ビープ音オフ：スキャナー



BEPPWR1.

*電源投入ビープ音オン：スキャナー

BEL文字でのビープ音

ホストから送信されたコマンドで強制的にスキャナーのビープ音を鳴らすこともできます。下記の[BELでのビープ音オン]バーコードをスキャンすると、スキャナーはホストからBEL文字を受信するたびにビープ音を鳴らします。初期設定は、[BELでのビープ音オフ]です。



BELBEP0.

*BELでのビープ音オフ



BELBEP1.

BELでのビープ音オン

トリガー クリック音

スキャナーのトリガーを押すたびにクリック音を鳴らすには、下記の[トリガー クリック音オン]バーコードをスキャンします。クリック音が不要な場合は、[トリガー クリック音オフ]バーコードをスキャンします（この機能は、シリアル トリガーまたは自動トリガーには影響しません）。初期設定は、[トリガー クリック音オフ]です。



BEPTRG0.

*トリガー クリック音オフ



BEPTRG1.

トリガー クリック音オン

読み取り成功およびエラーのインジケータ

ビープ音：読み取り成功

読み取りが成功したときのビープ音を**オン**または**オフ**にプログラムできます。このオプションをオフにすると、読み取りが成功したことを示すビープ音のみがオフになります。エラーおよびメニューのビープ音はすべて聞こえます。初期設定は、[ビープ音：読み取り成功オン]です。



BEPBEP0.

ビープ音：読み取り成功オフ



BEPBEP1.

*ビープ音：読み取り成功オン

ビープ音量：読み取り成功

ビープ音量のコードは、読み取りが成功したときにスキャナーが鳴らすビープ音の音量を変更します。初期設定は、大です。



BEPLVL1.

小



BEPLVL2.

中



BEPLVL3.

*大



BEPLVL0.

オフ

ビープ音程：読み取り成功

ビープ音程のコードは、読み取りが成功したときにスキャナーが鳴らすビープ音の音程（周波数）を変更します。初期設定は、中です。



BEPFQ11600.

低 (1600 Hz)



BEPFQ12400.

*中 (2400 Hz)



BEPFQ14200.

高 (4200 Hz)

ビープ音程 : エラー

ビープ音程のコードは、異常な読み取りまたはエラーが発生したときにスキャナーが鳴らす音の音程（周波数）を変更します。

初期設定は、Razzです。



BEPFQ2250.
Razz (250 Hz)



BEPFQ23250.*
中 (3250 Hz)



BEPFQ24200.
高 (4200 Hz)

ビープ音の長さ : 読み取り成功

ビープ音の長さのコードは、読み取りが成功したときにスキャナーが鳴らすビープ音の長さを変更します。初期設定は、標準です。



BEPBIP0.
*標準のビープ音



BEPBIP1.
短いビープ音

LED : 読み取り成功

読み取りが成功したときのLEDインジケータを**オン**または**オフ**にプログラムできます。初期設定は、オンです。



BEPLED1.
*LED : 読み取り成功オン



BEPLED0.
LED : 読み取り成功オフ

ビープ音の回数：読み取り成功

読み取りが成功したときのビープ音の回数を1~9にプログラムできます。この回数は、読み取りが成功したときのビープ音およびLEDに適用されます。たとえば、このオプションでビープ音を5回にプログラムすると、読み取りが成功したときにビープ音が5回鳴り、LEDが5回点滅します。ビープ音とLEDの点滅は互いに同期しています。ビープ音の回数を変更するには、下記のバーコードをスキャンしてから、このガイドの裏表紙内側にある **プログラミングチャート** の数字 (1~9) バーコードをスキャンし、**[保存]** バーコードをスキャンします。初期設定値は1です。



BEPRPT.

読み取り成功のビープ音/LED点滅の回数

ビープ音の回数：エラー

異常な読み取りまたはエラーの場合にスキャナーが発するビープ音およびLED点滅の回数を1~9にプログラムできます。たとえば、このオプションでエラー ビープ音を5回にプログラムすると、エラーが発生したときにエラー ビープ音が5回鳴り、LEDが5回点滅します。エラー ビープ音の回数を変更するには、下記のバーコードをスキャンしてから、このガイドの裏表紙内側にある **プログラミングチャート** の数字 (1~9) バーコードをスキャンし、**[保存]** バーコードをスキャンします。初期設定値は1です。



BEPERR.

エラー ビープ音/LED点滅の回数

読み取り成功遅延

スキャナーで次のバーコードが読み取り可能になるまでの最短時間を設定します。初期設定値は0ミリ秒（遅延なし）です。



DLYGRD0.

*遅延なし



DLYGRD500.

短い遅延 (500ミリ秒)



DLYGRD1000.

中程度の遅延 (1,000ミリ秒)



DLYGRD1500.

長い遅延 (1,500ミリ秒)

ユーザー指定の読み取り成功遅延

ユーザー独自の読み取り成功遅延を設定するには、下記のバーコードをスキャンしてから、裏表紙内側にある数字をスキャンして遅延 (0~30,000ミリ秒) を設定した後で、**[保存]** をスキャンします。



DLYGRD.

ユーザー指定の読み取り成功遅延

手動トリガー モード

手動トリガー モードでは、バーコードを読み取るかトリガーを離すまで、スキャナーはスキャンを続けます。初期設定は、[手動トリガー：標準]です。



PAPHHF.

*手動トリガー：標準

LED照明：手動トリガー

照明LEDの明るさを設定するには、以下のバーコードをスキャンします。これにより、トリガーを押したときのスキャナーのLED照明が設定されます。初期設定は、高です。

注：LEDはカメラのフラッシュに似ています。スキャナーでバーコードを読み取るには、部屋の周辺光が弱いほど、LEDの輝度を上げる必要があります。



PWRNOL7.

低



PWRNOL50.

中-高



PWRNOL15.

中



PWRNOL150.

*高

シリアルトリガー モード

トリガーを押すか、シリアル トリガー コマンド (8-3ページの[トリガー コマンド](#)を参照してください) を使用することで、スキャナーを有効化できます。シリアル モードでは、バーコードを読み取るか無効化コマンドが送信されるまで、スキャナーはスキャンを続けます。指定の時間が経過したら自動的にオフになるようにスキャナーを設定することもできます (次の[読み取りタイムアウト](#)を参照してください)。

読み取りタイムアウト

シリアル コマンドを使用してスキャナーをトリガーする場合に、この選択項目を使用してスキャナーのトリガーのタイムアウト (ミリ秒単位) を設定します。スキャナーがタイムアウトになった場合は、トリガーを押すか、シリアル トリガー コマンドを使用することでスキャナーを有効化できます。[読み取りタイムアウト]バーコードをスキャンした後、裏表紙内側にある[プログラミング チャート](#)の数字をスキャンしてタイムアウト時間 (0 ~ 300,000ミリ秒) を設定し、[保存]をスキャンします。初期設定値は30,000ミリ秒です。



TRGSTO.

読み取りタイムアウト

プレゼンテーションモード

プレゼンテーションモードでは、周辺光を使用してバーコードを検出します。LEDはスキャナーにバーコードが提示されるまで消灯しており、提示されるとLEDが点灯してコードを読み取ります。室内が十分明るくないと、プレゼンテーションモードが正しく機能しない場合があります。

スキャナーをプレゼンテーションモードにプログラムするには、以下のバーコードをスキャンします。



アイドル時の照明：プレゼンテーションモード

プレゼンテーションモードでアイドル状態になっているときにスキャナーのLED照明を設定するには、以下のバーコードをスキャンします。

初期設定は、高です。

注：アイドル時の照明をこれより低い設定にすると、十分な周辺光がない場合に、スキャナーにバーコードを提示しても検出されにくいことがあります。バーコードを読み取るためにスキャナーが「復帰」しにくいときは、アイドル時の照明をより明るい設定にする必要がある場合があります。



プレゼンテーション感度

プレゼンテーション感度は、提示されたバーコードに対するスキャナーの反応時間を増減する数値範囲です。感度を設定するには、[感度]バーコードをスキャンしてから、裏表紙内側にある数字をスキャンして感度（0～20）を設定した後で、[保存]をスキャンします。0は最も感度が高い設定で、20は最も感度が低い設定です。初期設定値は1です。



プレゼンテーションセンタリング

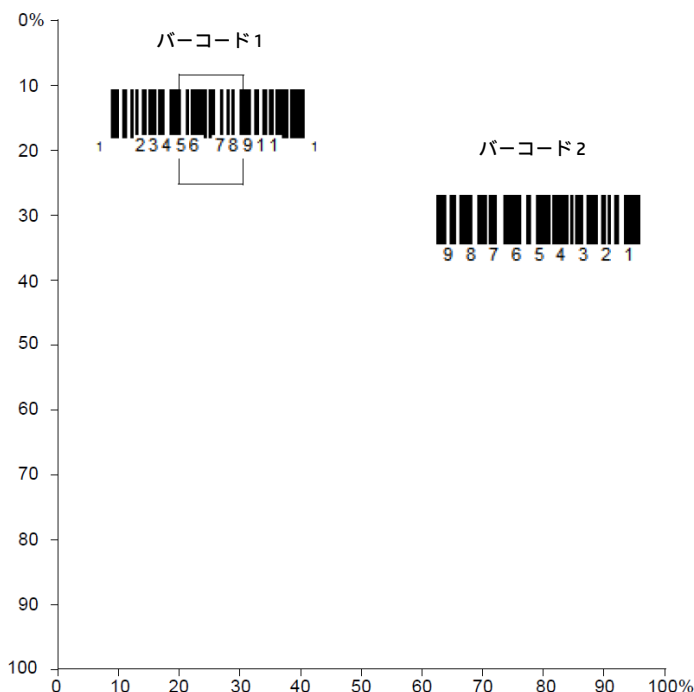
スキャナーをスタンドに装着したときに、ユーザーの意図するバーコードだけが読み取られるようにスキャナーの読み取りエリアを狭めるには、プレゼンテーションセンタリングを使用します。たとえば、複数のコードが互いに近接している場合に、プレゼンテーションセンタリングを使用することで、目的のコードだけが読み取られるようになります。

注：スキャナーをハンドヘルドで使用する場合のセンタリングの調整については、3-14ページの(センタリング)を参照してください。

事前定義されたウィンドウにバーコードが重ならなければ、スキャナーでデコードも出力もされません。[プレゼンテーションセンタリング オン]をスキャンしてプレゼンテーションセンタリングをオンにした場合、[プレゼンテーションセンタリングウィンドウ上辺]、[プレゼンテーションセンタリングウィンドウ下辺]、[プレゼンテーションセンタリングウィンドウ左辺]、

および[プレゼンテーション センタリング ウィンドウ右辺]バーコードで指定したセンタリング ウィンドウに重なるコードのみがスキャナーで読み取られます。

下の例では、白い辺30%、上辺8%、および下辺25%に設定されています。バーコード1はセンタリング ウィンドウに重なるため、バーコードが読み取られます。バーコード2はセンタリング ウィンドウに重ならないため、読み取られません。



注：バーコードはセンタリング ウィンドウに重なると読み取られます。バーコードがセンタリング ウィンドウを完全に通過する必要はありません。

センタリング ウィンドウの上辺、下辺、左辺、または右辺を変更するには、[プレゼンテーション センタリング オン]をスキャンしてから、以下のバーコードをスキャンします。次に、このガイドの裏表紙内側にある数字を使用して、センタリング ウィンドウの位置を変更する割合をスキャンします。[保存]をスキャンします。プレゼンテーション センタリングの初期設定は、上辺および左辺が40%、下辺および右辺が60%です。



PDCWIN1.

プレゼンテーションセンタリング オン



PDCWIND.

*プレゼンテーションセンタリング オフ



PDCTOP.

プレゼンテーションセンタリング
ウィンドウ上辺



PDCBOT.

プレゼンテーションセンタリング
ウィンドウ下辺



PDCLFT.
プレゼンテーション センタリング
ウィンドウ左辺



PDCRGT.
プレゼンテーション センタリング
ウィンドウ右辺

スタンド装着時のセンサー モード

この機能は、スキャナーがスタンドから取り外されたことを検出し、手動トリガーを開始するようにスキャナーに指示します。[センサー オン]を有効にした場合、初期設定としてスキャナーはスタンド装着時にはプレゼンテーション モードになり、スタンドから取り外されると手動トリガー モードになります。初期設定は、[センサー オン]です。



TRGSSW1.
*センサー オン



TRGSSW0.
センサー オフ

低品質コード

低品質1Dコード

この設定を使用すると、損傷した線形バーコードおよび印刷状態の悪い線形バーコードを読み取る機能が向上します。[低品質1D読み取りオン]をスキャンすると、低品質の線形バーコードの読み取りが向上しますが、スキャナーの機敏性が低下するため、高品質のバーコードを読み取るときの生産性が低くなります。この設定は、2Dバーコードの読み取りには影響しません。初期設定は、[低品質1D読み取りオフ]です。



DECLD1.
低品質1D読み取りオン



DECLD0.
*低品質1D読み取りオフ

低品質PDFコード

この設定を使用すると、複数の画像の情報を組み合わせることにより、損傷したPDFバーコードおよび印刷状態の悪いPDFバーコードを読み取る機能が向上します。[低品質PDF読み取りオン]をスキャンすると、低品質のPDFコードの読み取りが向上しますが、スキャナーの機敏性が低下するため、高品質のバーコードを読み取る際の生産性が低くなります。この設定は、1Dバーコードの読み取りには影響しません。初期設定は、[低品質PDF読み取りオフ]です。



PDFXPR1.

低品質PDF読み取りオン



PDFXPR0.

* 低品質PDF読み取りオフ

CodeGate®

CodeGateが**オン**の場合、デコードされたデータをホストシステムに送信するためにトリガーを使用します。スキャナーはオン状態のままバーコードのスキャンおよびデコードを継続しますが、トリガーが押されるまでバーコードデータは送信されません。CodeGateが**オフ**の場合、バーコードデータはデコードされたときに送信されます。初期設定は、[スタンド非装着時CodeGateオフ]です。



AOSCGD0.

* スタンド非装着時CodeGateオフ



AOSCGD1.

スタンド非装着時CodeGateオン

携帯電話読み取りモード

このモードを選択すると、携帯電話などのLEDディスプレイからバーコードを読み取るためにスキャナーが最適化されます。ただし、このモードを有効にすると、印刷されたバーコードの読み取り速度が若干遅くなる可能性があります。



PAPHHC.

ハンドヘルドスキャン：携帯電話

注：携帯電話読み取りモードをオフにするには、手動トリガーモードのバーコード（3-5ページを参照してください）をスキャンします。

ハンズフリー タイムアウト

スキャン スタンド モードおよびプレゼンテーション モードは、「ハンズフリー」モードと呼ばれます。ハンズフリー モードの使用中にスキャナーのトリガーを押すと、スキャナーは手動トリガー モードに変わります。ハンズフリー タイムアウトを設定することで、スキャナーの手動トリガー モードの継続時間を設定できます。タイムアウトの値に達すると、（その間にトリガーが押されていない場合）スキャナーは元のハンズフリー モードに戻ります。

[ハンズフリー タイムアウト]バーコードをスキャンした後、裏表紙内側にある数字をスキャンしてタイムアウト時間（0～300,000ミリ秒）を設定し、[保存]をスキャンします。初期設定値は5,000ミリ秒です。



TRGPT0.

ハンズフリータイムアウト

再読み取り遅延

スキャナーで同じバーコードを再度読み取れるようになるまでの時間を設定します。再読み取り遅延を設定することで、同じバーコードを誤って再度読み取ることを防止できます。遅延を長くするほど、誤った再読み取りを最小限に抑えられます。バーコードを繰り返しスキャンする必要のある使用方法では、短い遅延を使用してください。再読み取り遅延は **プレゼンテーション モード**（3-5 ページを参照してください）でのみ機能します。初期設定は、中です。



DLYRRD500.

短（500ミリ秒）



DLYRRD750.

*中（750ミリ秒）



DLYRRD1000.

長（1000ミリ秒）



DLYRRD2000.

極長（2000ミリ秒）

ユーザー指定の再読み取り遅延

ユーザー独自の再読み取り遅延を設定するには、下記のバーコードをスキャンしてから、裏表紙内側にある数字をスキャンして遅延（0～30,000ミリ秒）を設定した後で、[保存]をスキャンします。



DLYRRD.

ユーザー指定の再読み取り遅延

2D再読み取り遅延

2Dバーコードの読み取りには他のバーコードより時間がかかることがあります。2Dバーコード用に別の再読み取り遅延を設定するには、以下のプログラミング コードをスキャンします。[2D再読み取り遅延オフ]は、**再読み取り遅延**に設定した時間を1Dバーコードと2Dバーコードの両方に使用することを示します。初期設定は、[2D再読み取り遅延オフ]です。



DLY2RRD.

* 2D再読み取り遅延オフ



DLY2RR2000.
中 (2000ミリ秒)



DLY2RR4000.
極長 (4000ミリ秒)



DLY2RR1000.
短 (1000ミリ秒)



DLY2RR3000.
長 (3000ミリ秒)

文字有効化モード

ホストから送信される文字によってスキャナーをトリガーして、スキャンを開始できます。有効化文字を受信すると、[文字有効化タイムアウト](#) (3-12ページ) になるか、無効化文字を受信するか (3-12ページの[無効化文字](#)を参照してください)、バーコードを送信するまで、スキャナーはスキャンを継続します。文字有効化を使用するには、以下の[オン]バーコードをスキャンしてから、有効化文字 (下記) を使用して、スキャン開始のためにホストから送信する文字を選択します。

初期設定は、オフです。



HSTCEN0.
*オフ



HSTCEN1.
オン

有効化文字

文字有効化モードの使用時にスキャン開始のために使用する文字を設定します。A-3ページの[ASCII変換表 \(コード ページ1252\)](#) で、スキャン開始のために使用する文字を表す16進値を見つけます。以下のバーコードをスキャンしてから、そのASCII文字を表す英数字の組み合わせを[プログラミング チャート](#)で読み取ります。[保存]をスキャンして終了します。



HSTACH.
有効化文字

読み取り成功後に文字有効化を終了

スキャナーでバーコードの検出および読み取りに成功した後、照準をオンのままにしてスキャンを継続するか、照準をオフにするかをプログラムできます。[読み取り成功後に文字有効化を終了]を有効にすると、読み取り成功後に照準はオフになりスキャンが停止します。[読み取り成功後に文字有効化を終了しない]をスキャンすると、読み取り成功後も照準はオン状態のままになります。初期設定は、[読み取り成功後に文字有効化を終了]です。



HSTCGD0.

読み取り成功後に文字有効化を終了しない



HSTCGD1.

*読み取り成功後に文字有効化を終了

文字有効化タイムアウト

文字有効化モードの使用時に照準をオンのままにしてバーコードのデコードを試行する時間を表す、タイムアウトを設定できます。タイムアウトの時間（ミリ秒単位）を設定するには、下記のバーコードをスキャンしてから、[プログラミングチャート](#)にある数字をスキャンしてタイムアウト（1～65535ミリ秒）を設定した後で、[保存](#)をスキャンします。初期設定値は5000ミリ秒です。



HSTCDT.

文字有効化タイムアウト

文字無効化モード

ホストから文字を送信することによってスキャナーをトリガーしてスキャンを開始した場合は、無効化文字を送信してスキャンを停止することもできます。文字無効化を使用するには、以下の[オン]バーコードをスキャンしてから、無効化文字（下記）を使用して、スキャン終了のためにホストから送信する文字を選択します。初期設定は、オフです。



HSTDEN0.

*オフ



HSTDEN1.

オン

無効化文字

文字無効化モードの使用時にスキャン終了のために使用する文字を設定します。[A-3ページのASCII変換表（コードページ1252）](#)で、スキャン終了のために使用する文字を表す16進値を見つけます。以下のバーコードをスキャンしてから、そのASCII文字を表す英数字の組み合わせを[プログラミングチャート](#)で読み取ります。[保存](#)をスキャンして終了します。



HSTDCH.

無効化文字

照明光

バーコードの読み取り中に照明光を点灯させるには、下記の[ライト オン]バーコードをスキャンします。消灯させるには、[ライト オフ]バーコードをスキャンします。初期設定は、[ライト オン]です。

注：この設定は、照準光には影響しません。照準光は照準モード（下記）を使用して設定できます。



SCNLED1.

*ライトオン



SCNLED0.

ライトオフ

照準遅延

照準遅延を使用すると、画像を取り込む前にオペレーターがスキャナーの照準を合わせるための遅延時間を設定できます。トリガーを引いてから画像が取り込まれるまでの時間を設定するには、以下のコードを使用します。遅延時間の間は、照準光が照射されますが、遅延時間が経過するまでLEDは点灯しません。初期設定は、オフです。



SCNDLY200.

200ミリ秒



SCNDLY400.

400ミリ秒



SCNDLY0.

*オフ（遅延なし）

ユーザー指定の照準遅延

ユーザー独自の遅延時間を設定するには、下記のバーコードをスキャンしてから、このガイドの裏表紙内側にある [プログラミングチャート](#) の数字をスキャンしてタイムアウト（0～4,000ミリ秒）を設定した後で、[保存]をスキャンします。



SCNDLY.

遅延時間

照準モード

この機能を使用すると、照準のオン/オフを切り替えることができます。[インターレース]バーコードをスキャンすると、照準と照明LEDが組み合わせられます。初期設定は、[インターレース]です。



SCNAIM0.

オフ



SCNAIM2.

*インターレース

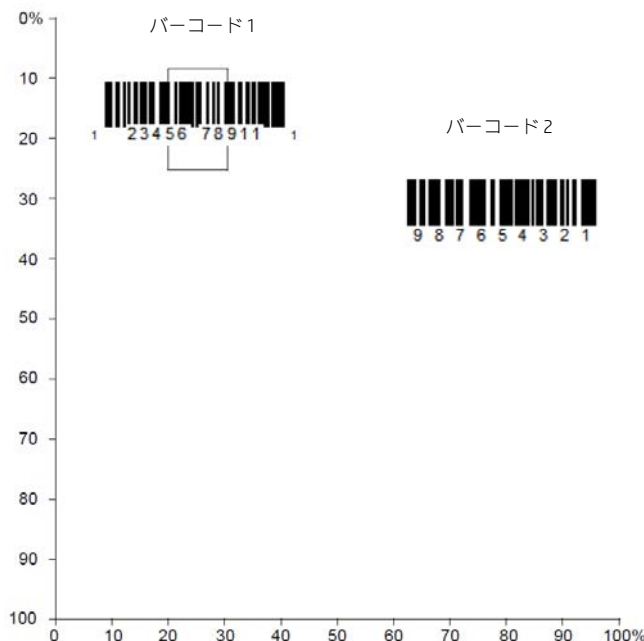
センタリング

スキャナーをハンドヘルドで使用するときに、ユーザーの意図するバーコードだけが読み取られるようにスキャナーの読み取りエリアを狭めるには、センタリングを使用します。たとえば、複数のコードが互いに近接している場合に、センタリングを使用することで、目的のコードだけが読み取られるようになります。

注：スキャナーをスタンドに装着したときのセンタリングの調整については、3-6ページの[プレゼンテーション センタリング](#)を参照してください。

事前定義されたウィンドウにバーコードが重ならなければ、スキャナーでデコードも出力もされません。[センタリング オン]をスキャンしてセンタリングをオンにした場合、[センタリング ウィンドウ上辺]、[センタリング ウィンドウ下辺]、[センタリング ウィンドウ左辺]、および[センタリング ウィンドウ右辺]バーコードで指定したセンタリング ウィンドウに重なるコードだけがスキャナーで読み取られます。

下の例では、白いボックスがセンタリング ウィンドウです。センタリング ウィンドウは左辺20%、右辺30%、上辺8%、および下辺25%に設定されています。バーコード1はセンタリング ウィンドウに重なるため、バーコードが読み取られます。バーコード2はセンタリング ウィンドウに重ならないため、読み取られません。



注：バーコードはセンタリング ウィンドウに重なると読み取られます。バーコードがセンタリング ウィンドウを完全に通過する必要はありません。

センタリング ウィンドウの上辺、下辺、左辺、または右辺を変更するには、[センタリング オン]をスキャンしてから、以下のバーコードをスキャンします。次に、このガイドの裏表紙内側にある数字を使用して、センタリング ウィンドウの位置を変更する割合をスキャンします。[保存]をスキャンします。センタリングの初期設定は、上辺および左辺が40%、下辺および右辺が60%です。



DECWIN1.
センタリング オン



DECTOP.
センタリングウィンドウ上辺



DECLFT.
センタリングウィンドウ左辺



DECWIND.
*センタリング オフ



DECBOT.
センタリングウィンドウ下辺



DECRGT.
センタリングウィンドウ右辺

No Read

No Read (読み取りなし) を**オン**にすると、スキャナーはコードを読み取れない場合にユーザーに通知します。EZConfigスキャン ツールのスキャン データ ウィンドウ (7-2ページを参照してください) を使用している場合、コードを読み取れないときに[NR]と表示されます。No Readを**オフ**にすると、[NR]は表示されません。初期設定は、オフです。



SHWNRD1.

オン



SHWNRD0.

*オフ

[NR]ではなく[Error] (エラー) や[Bad Code] (異常なコード) などの別の表記にしたい場合は、出力メッセージを編集できます (5-1ページ以降のデータフォーマットを参照してください)。No Read読み取りコードの16進数コードは9Cです。

ビデオ反転

ビデオ反転を使用すると、反転したバーコードをスキャナーで読み取ることができます。下記の[ビデオ反転オフ]バーコードは、このようなバーコードの一例です。反転したバーコードだけを読み取るには、[ビデオ反転のみ]をスキャンします。両方のタイプのコードを読み取るには、[ビデオ反転および標準のバーコード]をスキャンします。

注： [ビデオ反転のみ]をスキャンした後は、メニュー バーコードを読み取ることができません。メニュー バーコードを読み取るには、[ビデオ反転オフ]または[ビデオ反転および標準のバーコード]をスキャンする必要があります。

注： ユニットからダウンロードされる画像は反転されません。これはデコードのみに関する設定です。



VIDREV1.
ビデオ反転のみ



VIDREV2
ビデオ反転および標準の
バーコード

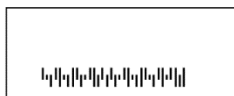


*ビデオ反転オフ

読み取り方向

バーコードには、読み取り方向の影響を受けるものがあります。たとえば、KIXコードやOCRは、横からまたは上下逆さまにスキャンすると誤読が発生する可能性があります。読み取り方向の影響を受けるコードが、スキャナーに対して常に直立で提示されない場合は、読み取り方向を設定します。初期設定は、[直立]です。

直立：



上下逆さま：



垂直、先頭上
(時計方向に90° 回転)



垂直、先頭下
(反時計方向に90° 回転)





ROTATN0.
* 直立



ROTATN2.
上下逆さま



ROTATN1.
垂直、先頭下



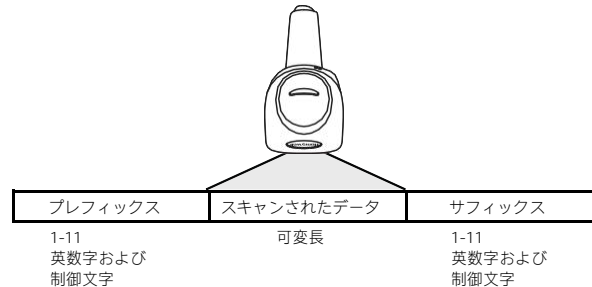
ROTATN3.
垂直、先頭上



プレフィックス/サフィックスの概要

バーコードをスキャンすると、バーコード データとともに追加情報がホスト コンピューターに送信されます。このバーコード データとユーザー定義の追加データの集まりを「メッセージ文字列」と呼びます。このセクションの選択項目は、ユーザー定義のデータをメッセージ文字列に組み込むために使用します。

プレフィックス文字およびサフィックス文字は、スキャンされたデータの前後に送信できるデータ文字列です。すべての読み取りコードに付加して送信するか、特定の読み取りコードのみに付加して送信するかを指定できます。以下の図は、メッセージ文字列の内訳を示しています。



注意点

- ・メッセージ文字列の構築は必須ではありません。この章の選択項目は、初期設定を変更したい場合にのみ使用します。プレフィックスの初期設定は、なしです。サフィックスの初期設定は、なしです。
- ・プレフィックスまたはサフィックスの追加または消去は、1つの読み取りコードのみ、またはすべての読み取りコードに対して行うことができます。
- ・A-3ページ以降の[ASCII変換表 \(コード ページ1252\)](#) から任意のプレフィックスまたはサフィックスを追加でき、コードIDおよびAIM IDも追加できます。
- ・一度に複数の読み取りコードの複数のエントリを1つの文字列にまとめることができます。
- ・プレフィックスおよびサフィックスは、出力に表示したい順序で入力します。
- ・特定の読み取りコード（すべての読み取りコードではなく）を対象にセットアップする場合、その読み取りコードのID値は、追加されたプレフィックス文字またはサフィックス文字として扱われます。
- ・プレフィックスまたはサフィックスの構成の最大サイズは、ヘッダー情報も含めて200文字です。

プレフィックスまたはサフィックスを追加する方法

- 手順1. [プレフィックスの追加]または[サフィックスの追加]読み取りコード ([4-2ページ](#)) をスキャンします。
- 手順2. プレフィックスまたはサフィックスを適用する読み取りコードの2桁の16進値を、読み取りコード表 (A-1ページ以降の[読み取りコード表](#)) で調べます。たとえば、Code 128の場合、コードIDは「j」、16進数IDは「6A」です。
- 手順3. このガイドの裏表紙内側にある[プログラミング チャート](#)で、この2桁の16進値をスキャンします。すべての読み取りコードの場合は9、9をスキャンします。
- 手順4. 入力するプレフィックスまたはサフィックスの16進値を、A-3ページ以降の[ASCII変換表 \(コード ページ1252\)](#) で調べます。
- 注： コードIDを追加するには、5、C、8、0をスキャンします。
AIM IDを追加するには、5、C、8、1をスキャンします。
バックスラッシュ (\) を追加するには、5、C、5、Cをスキャンします。
バックスラッシュ (\) を追加するには、5Cを2回スキャンする必要があります。1回目は先行バックスラッシュ、2回目はバックスラッシュ自体を作成するためです。
- 手順5. このガイドの裏表紙内側にあるプログラミングチャートで、この2桁の16進値をスキャンします。
- 手順6. すべてのプレフィックス文字またはサフィックス文字について手順4および5を繰り返します。
- 手順7. 保存して終了するには[保存]をスキャンし、保存しないで終了するには[破棄]をスキャンします。別の読み取りコードのプレフィックスまたはサフィックスを追加する場合は、手順1～6を繰り返します。

例：すべての読み取りコードにタブサフィックスを追加する

- 手順1. [サフィックスの追加]をスキャンします。
- 手順2. このサフィックスをすべての読み取りコードに適用するために、このガイドの裏表紙内側にある**プログラミング チャート**で9、9をスキャンします。
- 手順3. このガイドの裏表紙内側にある**プログラミング チャート**で、0、9をスキャンします。A-3ページ以降の**ASCII変換表（コードページ1252）**に示されているとおり、これは水平タブの16進値に一致します。
- 手順4. [保存]をスキャンします。または、保存しないで終了する場合は[破棄]をスキャンします。

1つまたはすべてのプレフィックスまたはサフィックスを消去するには

読み取りコードのプレフィックスまたはサフィックスを1つ消去することも、すべて消去することもできます。個々の読み取りコードにプレフィックスおよびサフィックスを入力した場合、[1つのプレフィックス（サフィックス）を消去]を使用すると、読み取りコードから特定の文字を削除できます。[すべてのプレフィックス（サフィックス）を消去]を使用すると、読み取りコードのプレフィックスまたはサフィックスがすべて削除されます。

- 手順1. [1つのプレフィックスを消去]または[1つのサフィックスを消去]読み取りコードをスキャンします。
- 手順2. プレフィックスまたはサフィックスを消去する読み取りコードの2桁の16進値を、読み取りコード表（A-1ページ以降の**読み取りコード表**）で調べます。
- 手順3. このガイドの裏表紙内側にある**プログラミング チャート**で、この2桁の16進値をスキャンします。すべての読み取りコードの場合は9、9をスキャンします。

変更内容は自動的に保存されます。

すべての読み取りコードにキャリッジリターンサフィックスを追加するには

すべての読み取りコードに、一括でキャリッジリターンサフィックスを追加するには、以下のバーコードをスキャンします。この操作では、まず現在のサフィックスがすべて消去され、次にすべての読み取りコードに対してキャリッジリターンサフィックスがプログラムされます。



VSUF CR.

すべての読み取りコードにCRサフィックスを追加

プレフィックスの選択項目



PREBK2.

プレフィックスの追加



PRECL2.

1つのプレフィックスを消去



PRECA2.

すべてのプレフィックスを消去

サフィックスの選択項目



SUFBK2.

サフィックスの追加



SUFCA2.

すべてのサフィックスを消去



SUFCL2.

1つのサフィックスを消去

ファンクション コードの送信

この選択が有効になっているときに、スキャンしたデータ内にファンクション コードが含まれていた場合、スキャナーから端末にファンクション コードが送信されます。これらのファンクション コードの表は、[A-3ページ以降のASCII変換表 \(コード ページ1252\)](#)に記載されています。スキャナーがキーボードウェッジモードの場合は、スキャンコードは送信前にキーコードに変換されます。

初期設定は、[有効]です。



RMVFNC0.

*有効



RMVFNC1.

無効

文字間、ファンクション間、およびメッセージ間の遅延

端末によっては、データの着信が速すぎると情報（文字）が失われることがあります。文字間、ファンクション間、およびメッセージ間の遅延を使用すると、データの送信速度を下げてデータの整合性を高めることができます。

文字間遅延

スキャンされたデータを送信するときに、各文字の間に最大5000ミリ秒（5ミリ秒刻み）の文字間遅延を挿入できます。下記の[文字間遅延]バーコードをスキャンしてから、このガイドの裏表紙内側にある[プログラミング チャート](#)で5ミリ秒の遅延の回数をスキャンし、[保存]バーコードをスキャンします。



この遅延を削除するには、[文字間遅延]バーコードをスキャンしてから、遅延の回数を0に設定します。このガイドの裏表紙内側にある[プログラミング チャート](#)で[保存]バーコードをスキャンします。

注：文字間遅延はUSBシリアルエミュレーションではサポートされません。

ユーザー指定の文字間遅延

スキャンされたデータを送信するときに、特定の文字の後に最大5000ミリ秒（5ミリ秒刻み）の文字間遅延を挿入できます。下記の[遅延時間]バーコードをスキャンしてから、このガイドの裏表紙内側にある[プログラミング チャート](#)で5ミリ秒の遅延の回数をスキャンし、[保存]バーコードをスキャンします。

次に、[遅延を発生させる文字]バーコードをスキャンしてから、遅延を発生させる印刷可能文字を表す2桁の16進値をスキャンします（A-4ページの[下位のASCII参照表](#)を参照してください）。



DLYCRX.
遅延時間



DLY_XX.

遅延を発生させる文字

この遅延を削除するには、[遅延時間]バーコードをスキャンしてから、遅延の回数を0に設定します。このガイドの裏表紙内側にある[プログラミングチャート](#)で[保存]バーコードをスキャンします。

ファンクション間遅延

メッセージ文字列を送信するときに、各セグメントの間に最大5000ミリ秒（5ミリ秒刻み）のファンクション間遅延を挿入できます。下記の[ファンクション間遅延]バーコードをスキャンしてから、このガイドの裏表紙内側にある[プログラミングチャート](#)で5ミリ秒の遅延の回数をスキャンし、[保存]バーコードをスキャンします。

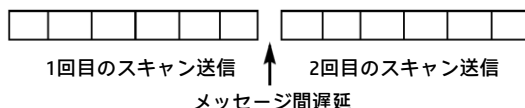


DLYFNC.
ファンクション間遅延

この遅延を削除するには、[ファンクション間遅延]バーコードをスキャンしてから、遅延の回数を0に設定します。このガイドの裏表紙内側にある[プログラミングチャート](#)で[保存]バーコードをスキャンします。

メッセージ間遅延

各スキャン送信の間に最大5000ミリ秒（5ミリ秒刻み）のメッセージ間遅延を挿入できます。下記の[メッセージ間遅延]バーコードをスキャンしてから、このガイドの裏表紙内側にある[プログラミングチャート](#)で5ミリ秒の遅延の回数をスキャンし、[保存]バーコードをスキャンします。



DLYMSG.
メッセージ間遅延

この遅延を削除するには、[メッセージ間遅延]バーコードをスキャンしてから、遅延の回数を0に設定します。このガイドの裏表紙内側にある[プログラミングチャート](#)で[保存]バーコードをスキャンします。

データフォーマット

データフォーマットエディターの概要

データフォーマットエディターを使用してスキャナーの出力を変更できます。たとえば、データフォーマットエディターを使用すると、バーコードデータのスキャン時にデータ中の特定位置に文字を挿入できます。以下のページの選択項目は、出力を変更したい場合のみ使用します。データフォーマットの初期設定は、なしです。

通常、バーコードをスキャンするとデータが自動的に出力されますが、フォーマットを作成する場合は、フォーマットプログラム内で「送信」コマンド（5-3ページの[送信コマンド](#)を参照してください）を使用してデータを出力する必要があります。

スキャナーには複数のフォーマットをプログラムできます。それらは入力された順にスタックされます。ただし、フォーマットが適用される順序は以下のとおりです。

1. 特定の端末ID、実際のコードID、実際の長さ
2. 特定の端末ID、実際のコードID、汎用の長さ
3. 特定の端末ID、汎用のコードID、実際の長さ
4. 特定の端末ID、汎用のコードID、汎用の長さ
5. 汎用の端末ID、実際のコードID、実際の長さ
6. 汎用の端末ID、実際のコードID、汎用の長さ
7. 汎用の端末ID、汎用のコードID、実際の長さ
8. 汎用の端末ID、汎用のコードID、汎用の長さ

データフォーマットの構成の最大サイズは、ヘッダー情報も含めて2000バイトです。

データフォーマットの設定を変更した場合、すべてのフォーマットを消去して工場出荷時の設定に戻すには、下記の[初期設定のデータフォーマット]をスキャンします。



DFMDF3.

* 初期設定のデータフォーマット

データフォーマットの追加

手順1. [データフォーマットの入力]読み取りコード（5-2ページ）をスキャンします。

手順2. メインのフォーマット/代替のフォーマットの選択

これをメインのデータフォーマットにするか、3つの代替フォーマットの1つにするかを決定します。合計4つの異なるデータフォーマットを保存できます。メインのフォーマットをプログラムする場合は、このガイドの裏表紙内側にある[プログラミングチャート](#)で0をスキャンします。代替フォーマットをプログラムする場合は、プログラムする代替フォーマットに応じて1、2、または3をスキャンします（詳しくは、5-9ページの「メインのフォーマット/代替のフォーマット」を参照してください）。

手順3. 端末の種類

[端末ID表](#)（5-3ページ）を参照し、お使いのPCの端末ID番号を確認します。裏表紙内側にある数字バーコードを3つスキャンして、スキャナーに端末IDをプログラムします（3桁入力する必要があります）。たとえば、ATウェッジの場合は0 0 3をスキャンします。

注：すべての端末の種類を表すワイルドカードは099です。

手順4. コードID

A-1ページ以降の[読み取りコード表](#)で、このデータフォーマットを適用する読み取りコードを見つけます。その読み取りコードの16進値を確認し、このガイドの裏表紙内側にある[プログラミングチャート](#)で、2桁の16進値をスキャンします。

注：パッチモード数のデータフォーマットを作成する場合は、コードIDとして35を使用します。

手順5. 長さ

この読み取りコードで許容されるデータの長さ（最大9999文字）を指定します。このガイドの裏表紙内側にある[プログラミングチャート](#)で、この4桁のデータ長をスキャンします。（注：50文字の場合は0050と入力します。9999は、任意の長さを表す汎用の数値です）。

手順6. エディター コマンド

データ フォーマット エディターのコマンド (5-3ページ) を参照してください。入力したいコマンドを表す読み取りコードをスキャンします。

手順7. データ フォーマットを保存するには[保存]をスキャンし、変更内容を保存しないで終了するには[破棄]をスキャンします。



DFMBK3.

データフォーマットの入力



MNUSAV.

保存



MNUABT.

破棄

その他のプログラミング選択項目

1つのデータ フォーマットを消去

1つの読み取りコードのデータ フォーマットを1つ削除します。メインのフォーマットを消去する場合は、このガイドの裏表紙内側にある [プログラミング チャート](#) で0をスキャンします。代替フォーマットを消去する場合は、消去するフォーマットに応じて1、2、または3をスキャンします。削除する特定のデータ フォーマットの端末の種類、コードID (A-1ページの [読み取りコード表](#) を参照してください)、およびバーコード データ長をスキャンします。その他のフォーマットは影響を受けません。

すべてのデータ フォーマットを消去

すべてのデータ フォーマットを消去します。

データ フォーマットの変更内容を保存して終了するには、[保存]をスキャンします。

データ フォーマットの変更内容を保存しないで終了するには、[破棄]をスキャンします。



DFMCL3.

1つのデータフォーマットを消去



DFMCA3.

すべてのデータフォーマットを消去



MNUSAV.

保存



MNUABT.

破棄

端末ID表

端末	モデル	端末ID
USB	PCキーボード (HID)	124
	Macキーボード	125
	PCキーボード (日本語)	134
	シリアル (COMドライバーが必要)	130
	HID POS	131
	USB SurePOS/ハンドヘルド	128
	USB SurePOSテーブルトップ	129
シリアル	RS232 TTL	000
	RS232 True	000
キーボード	PS2互換機	003

データフォーマットエディターのコマンド

送信コマンド

すべての文字を送信する

- F1 入力メッセージのうち現在のカーソル位置以降にあるすべての文字を出力メッセージに含め、その後に挿入文字を付加します。構文は、F1xxです。xxは挿入文字のASCIIコードを表す16進値です。10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降の[ASCII変換表 \(コードページ1252\)](#)を参照してください。

指定の文字数を送信する

- F2 指定した数の文字を出力メッセージに含め、その後に挿入文字を付加します。入力メッセージのうち現在のカーソル位置以降にある「nn」個の文字または最後の文字までが含まれ、その後に「xx」の文字が付加されます。構文は、F2nnxxです。nnは文字数を表す数値 (00~99) で、xxは挿入文字のASCIIコードを表す16進値です。10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降の[ASCII変換表 \(コードページ1252\)](#)を参照してください。

F2の例：指定の文字数を送信する



上記のバーコードの先頭から10文字にキャリッジリターンを付加したものを送信します。コマンド文字列：F2100D

F2は「指定の文字数を送信する」コマンドです

10は送信する文字数です

0DはCRの16進値です

出力されるデータ：1234567890

F2とF1の例：文字を2行に分割する

上記のバーコードの先頭から10文字にキャリッジリターンを付加し、続いて残りの文字を送信します。

コマンド文字列：F2100DF10D

F2は「指定の文字数を送信する」コマンドです

10は1行目として送信する文字数です

0DはCRの16進値です

F1は「すべての文字を送信する」コマンドです

0DはCRの16進値です

出力されるデータ :

1234567890
ABCDEFGHIJ
<CR>

特定の文字までの文字をすべて送信する

- F3 入力メッセージのうち現在のカーソル位置から検索文字「ss」の直前までのすべての文字を出力メッセージに含め、その後に挿入文字を付加します。カーソルは文字「ss」まで前進します。構文は、F3ssxxです。ssは検索文字のASCIIコードを表す16進値で、xxは挿入文字のASCIIコードを表す16進値です。
10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降の[ASCII変換表 \(コード ページ1252\)](#) を参照してください。

F3の例 : 特定の文字までの文字をすべて送信する



上記のバーコードのうち「D」の直前までのすべての文字にキャリッジリターンを付加したものを送信します。

コマンド文字列 : F3440D

F3は「特定の文字までの文字をすべて送信する」コマンドです

44は「D」の16進値です

0DはCRの16進値です

出力されるデータ :

1234567890ABC
<CR>

末尾を除くすべての文字を送信する

- E9 現在のカーソル位置以降にあるすべての文字を、末尾の「nn」個の文字を除いて出力メッセージに含めます。カーソルは、入力メッセージのうち含まれた最後の文字を1つ越えた位置に前進します。構文は、E9nnです。nnは、送信しないメッセージ末尾の文字数を表す数値 (00~99) です。

文字を複数回挿入する

- F4 現在のカーソル位置は変更しないで、出力メッセージで文字「xx」を「nn」回送信します。構文は、F4xxnnです。xxは挿入文字のASCIIコードを表す16進値で、nnはその送信回数を表す数値 (00~99) です。
10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降の[ASCII変換表 \(コード ページ1252\)](#) を参照してください。

E9とF4の例 : 末尾を除くすべての文字に2つのタブを付加したものを送信する



上記のバーコードから末尾の8文字を除いたすべての文字に、2つのタブを付加して送信します。

コマンド文字列 : E908F40902

E9は「末尾を除くすべての文字を送信する」コマンドです

08は無視する末尾の文字数です

F4は「文字を複数回挿入する」コマンドです

09は水平タブの16進値です

02はタブ文字を送信する回数です

出力されるデータ : 1234567890AB <tab><tab>

移動コマンド

カーソルを指定の文字数だけ前進させる

- F5 カーソルを現在のカーソル位置から「nn」文字数だけ前進させます。
構文は、F5nnです。nnはカーソルを前進させる文字数を表す数値 (00~99) です。

F5の例：カーソルを前進させ、データを送信する



上記のバーコードで、カーソルを3文字分前進させてから、残りのバーコードデータを送信します。キャリッジリターンで終わります。

コマンド文字列：F503F10D

F5は「カーソルを指定の文字数だけ前進させる」コマンドです

03はカーソルを移動する文字数です

F1は「すべての文字を送信する」コマンドです

0DはCRの16進値です

出力されるデータ：

4567890ABCDEFGHIJ

<CR>

カーソルを指定の文字数だけ後退させる

- F6 カーソルを現在のカーソル位置から「nn」文字数だけ後退させます。
構文は、F6nnです。nnはカーソルを後退させる文字数を表す数値（00～99）です。

カーソルを先頭に移動する

- F7 カーソルを入力メッセージの最初の文字に移動します。構文は、F7です。

FEとF7の例：1で始まるバーコードを操作する



1で始まるバーコードを検索します。一致するバーコードであれば、カーソルをデータの先頭に移動し、6文字にキャリッジリターンを付加したものを送信します。上記のバーコードを使用すると以下のようになります。

コマンド文字列：FE31F7F2060D

FEは「文字を比較する」コマンドです

31は1の16進値です

F7は「カーソルを先頭に移動する」コマンドです

F2は「指定の文字数を送信する」コマンドです

06は送信する文字数です

0DはCRの16進値です

出力されるデータ：

123456

<CR>

カーソルを末尾に移動する

- EA カーソルを入力メッセージの最後の文字に移動します。構文は、EAです。

検索コマンド

文字を前進方向へ検索する

- F8 入力メッセージ内で現在のカーソル位置から前進方向へ文字「xx」を検索します。カーソルは文字「xx」に移動します。構文は、F8xxです。xxは検索文字のASCIIコードを表す16進値です。
10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降の[ASCII変換表（コードページ1252）](#)を参照してください。

F8の例：特定の文字以降のバーコード データを送信する



バーコード内で文字「D」を検索し、「D」およびそれに続くすべてのデータを送信します。上記のバーコードを使用すると以下ようになります。

コマンド文字列：**F844F10D**

F8は「文字を前進方向へ検索する」コマンドです

44は「D」の16進値です

F1は「すべての文字を送信する」コマンドです

0DはCRの16進値です

出力されるデータ：

DEFGHIJ

<CR>

文字を後退方向へ検索する

F9 入力メッセージ内で現在のカーソル位置から後退方向へ文字「xx」を検索します。カーソルは文字「xx」に移動します。構文は、F9xxです。xxは検索文字のASCIIコードを表す16進値です。

10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降の[ASCII変換表（コード ページ1252）](#)を参照してください。

一致しない文字を前進方向へ検索する

E6 入力メッセージ内で現在のカーソル位置から前進方向へ「xx」以外の最初の文字を検索します。カーソルは「xx」以外の文字に移動します。構文は、E6xxです。xxは検索文字のASCIIコードを表す16進値です。

10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降の[ASCII変換表（コード ページ1252）](#)を参照してください。

E6の例：バーコード データの先頭の0を削除する



この例のバーコードは0で埋められています。0を無視して、それより後のすべてのデータを送信することもできます。E6は、0以外の最初の文字を前進方向へ検索し、それより後のすべてのデータにキャリッジ リターンを付加したものを送信します。上記のバーコードを使用すると以下ようになります。

コマンド文字列：**E630F10D**

E6は「一致しない文字を前進方向へ検索する」コマンドです

30は0の16進値です

F1は「すべての文字を送信する」コマンドです

0DはCRの16進値です

出力されるデータ：

37692

<CR>

一致しない文字を後退方向へ検索する

E7 入力メッセージ内で現在のカーソル位置から後退方向へ「xx」以外の最初の文字を検索します。カーソルは「xx」以外の文字に移動します。構文は、E7xxです。xxは検索文字のASCIIコードを表す16進値です。

10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降の[ASCII変換表（コード ページ1252）](#)を参照してください。

その他のコマンド

文字を抑制する

- FB 他のコマンドによってカーソルが現在の位置から移動するに従い、最大15種類の文字をすべて抑制します。FCコマンドが検出されると抑制機能は終了します。FBコマンドではカーソルは移動しません。構文は、FBnnxxyy..zzです。nnはリストに指定する抑制する文字の数で、xxyy..zzは抑制する文字のリストです。

FBの例：バーコードデータ内のスペースを削除する



この例のバーコードにはスペースが含まれています。データを送信する前にスペースを削除することもできます。上記のバーコードを使用すると以下ようになります。

コマンド文字列：**FB0120F10D**

FBは「文字を抑制する」コマンドです

01は抑制される文字の種類の数です

20はスペースの16進値です

F1は「すべての文字を送信する」コマンドです

0DはCRの16進値です

出力されるデータ：

34567890

<CR>

文字の抑制を停止する

- FC抑制フィルターを無効にし、抑制対象の文字をすべて消去します。構文は、FCです。

文字を置換する

- E4 カーソルは移動しないで、出力メッセージ内の最大15の文字を置換します。置換はE5コマンドが検出されるまで続きます。構文は、E4nnxx1xx2yy1yy2...zz1zz2です。nnは、リストに指定する文字の合計数（置換する文字と置換文字）です。xx1は置換する文字で、xx2は置換文字です。以下、zz1およびzz2まで同様です。

E4の例：バーコードデータ内の0をCRで置換する



ホスト アプリケーションにとって不適切な文字がバーコードに含まれている場合は、E4コマンドを使用してそれらを別の文字で置換できます。この例では、上記のバーコード内の0をキャリッジリターンで置換します。

コマンド文字列：**E402300DF10D**

E4は「文字を置換する」コマンドです

02は、置換する文字と置換文字の合計数です（0をCRで置換するため、文字の合計数は2）

30は0の16進値です

0DはCR（0を置換する文字）の16進値です

F1は「すべての文字を送信する」コマンドです

0DはCRの16進値です

出力されるデータ：

1234

5678

ABC

<CR>

文字の置換を停止する

E5 文字の置換を終了します。構文は、E5です。

文字を比較する

FE 現在のカーソル位置にある文字を文字「xx」と比較します。文字が等しい場合は、カーソルが1つ前進します。構文は、FExxです。xxは比較文字のASCIIコードを表す16進値です。10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降のASCII変換表(コードページ1252)を参照してください。

数字かどうかを確認する

EC 現在のカーソル位置にASCII数字があることを確認します。文字が数字でない場合、フォーマットは中止されます。


ECの例：バーコードが数字で始まっている場合にのみデータを出力する

バーコードが数字で始まっている場合にのみデータが必要な場合は、ECを使用して数字かどうかを確認できます。コマンド文字列：ECF10D


ECは「数字かどうかを確認する」コマンドです

F1は「すべての文字を送信する」コマンドです

0DはCRの16進値です

このバーコード  が読み取られた場合、次のデータ フォーマットがあれば、それがデータに使用されます。
AB1234

他のフォーマットがなければ、フォーマットは失敗し、未処理のデータAB1234が出力されます。

このバーコード  が読み取られた場合、データは次のように出力されます。
1234AB

1234AB

<CR>

数字以外かどうかを確認する

ED 現在のカーソル位置に数字以外のASCII文字があることを確認します。文字が数字である場合、フォーマットは中止されます。

EDの例：バーコードが英文字で始まっている場合にのみデータを出力する


バーコードが英文字で始まっている場合にのみデータが必要な場合は、EDを使用して英文字かどうかを確認できます。

コマンド文字列：EDF10D


EDは「数字以外かどうかを確認する」コマンドです

F1は「すべての文字を送信する」コマンドです

0DはCRの16進値です

このバーコード  が読み取られた場合、次のデータ フォーマットがあれば、それがこのデータに使用されます。
1234AB

他のフォーマットがなければ、フォーマットは失敗し、未処理のデータ1234ABが出力されます。

このバーコード  が読み取られた場合、データは次のように出力されます。
AB1234

AB1234

<CR>

遅延を挿入する

EF 現在のカーソル位置から、最大49,995ミリ秒（5の倍数）の遅延を挿入します。構文は、EFnnnnです。nnnnは5ミリ秒刻みの遅延で、最大9999です。このコマンドはキーボードエミュレーションでのみ使用できます。

データフォーマッター

データフォーマッターをオフにすると、読み取られたバーコード データがプレフィックスおよびサフィックスも含めてそのままホストに出力されます。



DFM_EN0.

データフォーマッターオフ

作成して保存してあるデータ フォーマットに従うように要求することもできます。以下の設定をデータ フォーマットに適用できます。

データフォーマッターオン、必須でない、プレフィックス/サフィックスを保持

スキャンされたデータはユーザーのデータ フォーマットに従って変更され、プレフィックスおよびサフィックスも送信されます。

データフォーマット必須、プレフィックス/サフィックスを保持

スキャンされたデータはユーザーのデータ フォーマットに従って変更され、プレフィックスおよびサフィックスも送信されます。データがユーザーのデータ フォーマットの要件に一致しない場合、エラー音が鳴り、そのバーコードのデータは送信されません。

初期設定は、[データフォーマッターオン、必須でない、プレフィックス/サフィックスを保持]です。



DFM_EN1.

*データフォーマッターオン、
必須でない、
プレフィックス/サフィックスを保持



DFM_EN2.

データフォーマット必須、
プレフィックス/
サフィックスを保持

メインのデータフォーマット/代替のデータフォーマット

データフォーマットは4つまで保存でき、これらを切り替えて使用できます。メインのデータフォーマットは0として保存されます。他の3つのフォーマットは1、2、および3として保存されます。お使いのデバイスでこれらのフォーマットを使用するように設定するには、以下のバーコードをスキャンします。



ALTFNM0.

メインのデータフォーマット



ALTFNM1.

データフォーマット1



ALTFNM2.

データフォーマット2



ALTFNM3.

データフォーマット3

読み取りコード

このプログラミングセクションには、以下のメニュー項目があります。設定および初期設定については、[第8章](#)を参照してください。

- すべての読み取りコード
- Aztecコード
- China Post (Hong Kong 2 of 5)
- Chinese Sensible (Han Xin) コード
- Codabar
- Codablock A
- Codablock F
- Code 11
- Code 128
- Code 32 Pharmaceutical (PARAF)
- Code 39
- Code 93
- Data Matrix
- EAN/JAN-13
- EAN/JAN-8
- GS1コンポジットコード
- GS1 DataBar Expanded
- GS1 DataBar Limited
- GS1 DataBar Omnidirectional
- GS1エミュレーション
- GS1-128
- Interleaved 2 of 5
- Korea Post
- Matrix 2 of 5
- MaxiCode
- MicroPDF417
- MSI
- NEC 2 of 5
- 郵便コード (2D)
- 郵便コード (線形)
- PDF417
- GS1 DataBar Omnidirectional
- QRコード
- Straight 2 of 5 IATA (2バー開始/終了)
- Straight 2 of 5 Industrial (3バー開始/終了)
- TCIF Linked Code 39 (TLC39)
- UPC-A
- UPC-A
- 拡張クーポンコード付きUPC-A/EAN-13
- UPC-E0
- UPC-E1

すべての読み取りコード

お使いのスキャナーで対応可能なすべての読み取りコードをデコードする場合は、[すべての読み取りコードをオン]コードをスキャンします。一方、特定の読み取りコードのみをデコードする場合は、[すべての読み取りコードをオフ]をスキャンした後、その特定の読み取りコードの[オン]の読み取りコードをスキャンします。

注：[すべての読み取りコードをオン]をスキャンすると、スキャナーのパフォーマンスが低下する場合があります。[すべての読み取りコードをオン]は必要な場合にのみスキャンしてください。



ALLENA1.

すべての読み取りコードをオン



ALLENA0.

すべての読み取りコードをオフ

注：[すべての読み取りコードをオン]をスキャンしても、2D郵便コードは有効になりません。2D郵便コードは個別に有効にする必要があります。

メッセージ長の説明

一部の読み取りコードでは、有効読み取り長を設定できます。最小長と最大長を同じ値に設定すれば、スキャナーにバーコードデータの特定の桁数の読み取りを指定することができるため、これにより、誤読の可能性を減らすことができます。

例：文字数9～20のバーコードのみをデコードします。

最小長=09、最大長=20

例：文字数15のバーコードのみをデコードします。

最小長=15、最大長=15

最小および最大のメッセージ長を初期設定とは異なる値にするには、読み取りコードの説明に含まれているメッセージ長のバーコードをスキャンしてから、このガイドの裏表紙内側にある**プログラミング チャート**でメッセージ長の桁数をスキャンし、**[保存]**バーコードをスキャンします。最小長と最大長および初期設定値についての情報は、それぞれのコード欄に記載されています。

Codabar

<Codabarのすべての設定を初期化>



Codabarのオン/オフ



Codabarのスタート/ストップキャラクタ

スタート/ストップキャラクタは、バーコードの先頭および末尾を識別します。スタート/ストップキャラクタを送信するように設定することも、送信ないように設定することもできます。初期設定は、[送信しない]です。



Codabarのチェックキャラクタ

Codabarでは、いくつかの「モジュラス」を使用して、チェックキャラクタが作成されます。モジュラス16チェックキャラクタを使用するCodabarバーコードのみを読み取るよう、スキャナーをプログラミングできます。初期設定は、[チェック文字なし]です。

[**チェック文字なし**]は、チェックキャラクタの有無にかかわらずバーコードデータを読み取って送信することを示します。

チェックキャラクタを[**検証して送信**]に設定すると、スキャナーはチェックキャラクタ付きで印刷されたCodabarバーコードのみを読み取り、スキャンされたデータの末尾にこの文字を付加して送信します。

チェックキャラクタを[検証するが送信しない]に設定すると、スキャナーはチェックキャラクタ付きで印刷されたCodabarバーコードのみを読み取り、スキャンされたデータにチェックキャラクタを付加しないで送信します。



CBRCK20.
*チェックキャラクタなし



CBRCK21.
モジュラス16を検証するが
送信しない



CBRCK22.
モジュラス16を検証して送信

Codabarの連結

Codabarは読み取りコードの連結をサポートしています。連結を有効にすると、スキャナーは、「D」ストップキャラクタを持つ読み取りコードの隣にある、「D」スタートキャラクタを持つCodabar読み取りコードを探します。この場合、これら2つのメッセージは、「D」文字を除去して1つに連結されます。



A 1 2 3 4 D D 5 6 7 8 A

対になっていない単一の「D」Codabar読み取りコードをデコードしないようにするには、[必須]を選択します。この選択は、スタート/ストップキャラクタDを持たないCodabar読み取りコードには影響しません。



CBRCCT1.
オン



CBRCCT0.
*オフ



CBRCCT2.
必須

Codabarのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は2～60です。最小長の初期設定値は4、最大長の初期設定値は60です。



CBRMIN.
最小メッセージ長



CBRMAX
最大メッセージ長

Code 39

<Code 39のすべての設定を初期化>



C39DFT.

Code 39のオン/オフ



C39ENA1.

*オン



C39ENA0.

オフ

Code 39のスタート/ストップキャラクタ

スタート/ストップキャラクタは、バーコードの先頭および末尾を識別します。スタート/ストップキャラクタを送信するように設定することも、送信しないように設定することもできます。初期設定は、[送信しない]です。



C39SSX1.

送信



C39SSX0.

*送信しない

Code 39のチェックキャラクタ

[チェック文字なし]は、チェックキャラクタの有無にかかわらずバーコードデータを読み取って送信することを示します。

チェックキャラクタを[検証するが送信しない]に設定すると、ユニットはチェックキャラクタ付きで印刷されたCode 39バーコードのみを読み取り、スキャンされたデータにチェックキャラクタを付加しないで送信します。

チェックキャラクタを[検証して送信]に設定すると、スキャナーはチェックキャラクタ付きで印刷されたCode 39バーコードのみを読み取り、スキャンされたデータの末尾にこの文字を付加して送信します。初期設定は、[チェック文字なし]です。



C39CK20.

*チェックキャラクタなし



C39CK21.

検証するが送信しない



C39CK22.
検証して送信

Code 39のメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は0～48です。最小長の初期設定値は0、最大長の初期設定値は48です。



C39MIN.
最小メッセージ長



C39MAX.
最大メッセージ長

Code 39の連結

この機能を使用すると、いくつかのCode 39バーコードのデータを連結してから、ホスト コンピューターに送信できます。スキャナーは、連結のトリガー文字が含まれているCode 39バーコードを検出すると、連結のトリガー文字が含まれていないCode 39バーコードを読み取るまで、Code 39バーコードをバッファーします。その後、バーコードが読み取られた順番にデータが送信されます（先入れ先出し）。初期設定は、オフです。



C39APP1.
オン



C39APP0.
*オフ

Code 32 Pharmaceutical (PARAF)

Code 32 Pharmaceuticalは、イタリアの医薬分野で使用されているCode 39読み取りコードのフォーマットです。この読み取りコードはPARAFとも呼ばれます。



C39B321.
オン



C39B320.
*オフ

Full ASCII

Full ASCII Code 39デコードが有効になっている場合、バーコード読み取りコード内の特定の文字ペアは1つの文字として解釈されます。たとえば、\$VはASCII文字SYNとしてデコードされ、/CはASCII文字#としてデコードされます。初期設定は、オフです。

NUL %U	DLE \$P	SP SPACE	0 0	@ %V	P P	' %W	p +P
SOH \$A	DC1 \$Q	! /A	1 1	A A	Q Q	a +A	q +Q
STX \$B	DC2 \$R	" /B	2 2	B B	R R	b +B	r +R
ETX \$C	DC3 \$S	# /C	3 3	C C	S S	c +C	s +S
EOT \$D	DC4 \$T	\$ /D	4 4	D D	T T	d +D	t +T
ENQ \$E	NAK \$U	% /E	5 5	E E	U U	e +E	u +U
ACK \$F	SYN \$V	& /F	6 6	F F	V V	f +F	v +V
BEL \$G	ETB \$W	' /G	7 7	G G	W W	g +G	w +W
BS \$H	CAN \$X	(/H	8 8	H H	X X	h +H	x +X
HT \$I	EM \$Y) /I	9 9	I I	Y Y	i +I	y +Y
LF \$J	SUB \$Z	* /J	:	/Z	J J	Z Z	j +J z +Z
VT \$K	ESC %A	+ /K	;	%F	K K	[%K	k +K [%P
FF \$L	FS %B	, /L	<	%G	L L	\ %L	l +L %Q
CR \$M	GS %C	- -	=	%H	M M] %M	m +M] %R
SO \$N	RS %D	.	.	>	%I	N N	^ %N n +N ~ %S
SI \$O	US %E	/ /O	?	%J	O O	_ %O	o +O DEL %T

文字ペア/Mはマイナス記号、/Nはピリオドとしてそれぞれデコードされます。

文字ペア/P~/Yは、0~9としてデコードされます。



C39ASC1.
Full ASCIIオン



C39ASC0.
* Full ASCIIオフ

Code 39のコード ページ

コード ページは、文字コードから文字へのマッピングを定義します。受信したデータが適切な文字で表示されない場合、スキャンされたバーコードは、ホスト プログラムが想定しているものとは異なるコード ページを使用して作成された可能性があります。その場合は、以下のバーコードをスキャンし、バーコードの作成に使われたコード ページを選択してから（A-7ページのISO 2022/ISO 646の文字置換を参照してください）、このガイドの裏表紙内側にあるプログラミングチャートで値をスキャンし、[保存]バーコードをスキャンします。データの文字が正しく表示されるようになります。



C39DCP.
Code 39のコード ページ

Interleaved 2 of 5

<Interleaved 2 of 5のすべての設定を初期化>



Interleaved 2 of 5のオン/オフ



チェック デジット

[チェック デジットなし]は、チェック デジットの有無にかかわらずバーコード データを読み取って送信することを示します。

チェック デジットを[検証するが送信しない]に設定すると、ユニットはチェック デジット付きで印刷されたInterleaved 2 of 5バーコードのみを読み取り、スキャンされたデータにチェック デジットを付加しないで送信します。

チェック デジットを[検証して送信]に設定すると、スキャナーはチェック デジット付きで印刷されたInterleaved 2 of 5バーコードのみを読み取り、スキャンされたデータの末尾にこの数字を付加して送信します。初期設定は、[チェック デジットなし]です。



Interleaved 2 of 5のメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#) (6-1ページ) を参照してください。最小長および最大長は2~80です。最小長の初期設定値は4、最大長の初期設定値は80です。



NEC 2 of 5

<NEC 2 of 5のすべての設定を初期化>



NEC 2 of 5のオン/オフ



チェック デジット

[チェック デジットなし]は、チェック デジットの有無にかかわらずバーコード データを読み取って送信することを示します。

チェック デジットを[検証するが送信しない]に設定すると、ユニットはチェック デジット付きで印刷されたNEC 2 of 5バーコードのみを読み取り、スキャンされたデータにチェック デジットを付加しないで送信します。

チェック デジットを[検証して送信]に設定すると、スキャナーはチェック デジット付きで印刷されたNEC 2 of 5バーコードのみを読み取り、スキャンされたデータの末尾にこの数字を付加して送信します。初期設定は、[チェック デジットなし]です。



NEC 2 of 5のメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は2～80です。最小長の初期設定値は4、最大長の初期設定値は80です。



N25MIN.
最小メッセージ長



N25MAX.
最大メッセージ長

Code 93

<Code 93のすべての設定を初期化>



C93DFT.

Code 93のオン/オフ



C93ENA1.
*オン



C93ENA0.
オフ

Code 93のメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は0～80です。最小長の初期設定値は0、最大長の初期設定値は80です。



C93MIN.
最小メッセージ長



C93MAX.
最大メッセージ長

Code 93の連結

この機能を使用すると、いくつかのCode 93バーコードのデータを連結してから、ホスト コンピューターに送信できます。この機能を有効にすると、スキャナーは、（開始および終了の読み取りコードを除いて）スペースで始まるCode 93バーコードのデータをすぐには送信しないで保存します。スキャナーは、各データの最初のスペースを削除し、バーコードが読み取られた順番にデータを保存します。スキャナーは、スペース以外の文字で始まるCode 93バーコードを読み取ると、連結されたデータを送信します。初期設定は、オフです。



C93APP1.

オン



C93APP0.

*オフ

Code 93のコード ページ

コード ページは、文字コードから文字へのマッピングを定義します。受信したデータが適切な文字で表示されない場合、スキャンされたバーコードは、ホスト プログラムが想定しているものとは異なるコード ページを使用して作成された可能性があります。その場合は、以下のバーコードをスキャンし、バーコードの作成に使われたコード ページを選択してから（A-7ページの[ISO 2022/ISO 646の文字置換](#)を参照してください）、このガイドの裏表紙内側にある[プログラミング チャート](#)で値をスキャンし、**[保存]**バーコードをスキャンします。データの文字が正しく表示されるようになります。



C93DCP.

Code 93のコード ページ

Straight 2 of 5 Industrial (3バー開始/終了)

<Straight 2 of 5 Industrialのすべての設定を初期化>



Straight 2 of 5 Industrialのオン/オフ



Straight 2 of 5 Industrialのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#) (6-1ページ) を参照してください。最小長および最大長は1~48です。最小長の初期設定値は4、最大長の初期設定値は48です。



Straight 2 of 5 IATA (2バー開始/終了)

<Straight 2 of 5 IATAのすべての設定を初期化>



Straight 2 of 5 IATAのオン/オフ



Straight 2 of 5 IATAのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#) (6-1ページ) を参照してください。最小長および最大長は1~48です。最小長の初期設定値は4、最大長の初期設定値は48です。



Matrix 2 of 5

<Matrix 2 of 5のすべての設定を初期化>



Matrix 2 of 5のオン/オフ



Matrix 2 of 5のメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1～80です。最小長の初期設定値は4、最大長の初期設定値は80です。



Code 11

<Code 11のすべての設定を初期化>



C11DFT.

Code 11のオン/オフ



C11ENA1.

オン



C11ENAD.

*オフ

必要なチェック デジット

このオプションは、Code 11バーコードに必要なチェック デジットが1桁か2桁かを設定します。初期設定は、[2桁チェック デジット]です。



C11CK20.

1桁チェック デジット



C11CK21.

*2桁チェック デジット

Code 11のメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1～80です。最小長の初期設定値は4、最大長の初期設定値は80です。



C11MIN.

最小メッセージ長



C11MAX.

最大メッセージ長

Code 128

<Code 128のすべての設定を初期化>



Code 128のオン/オフ



ISBT 128の連結

1994年に、International Society of Blood Transfusion (ISBT) は重要な血液情報を統一された方法で伝達するための規格を承認しました。ISBTフォーマットの使用には、有料のライセンスが必要です。ISBT 128アプリケーション仕様では次のことが規定されています。1) 血液製剤にラベル付けするための重要なデータ要素、2) 高いセキュリティとスペース効率のよい設計により現在はCode 128の使用を推奨、3) 隣り合うシンボルの連結をサポートするCode 128の変形、4) 血液製剤ラベルのバーコードの標準レイアウト。連結のオン/オフを切り替えるには、以下のバーコードを使用します。初期設定は、オフです。



Code 128のメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#) (6-1ページ) を参照してください。最小長および最大長は0~80です。最小長の初期設定値は0、最大長の初期設定値は80です。



Code 128の連結

この機能を使用すると、いくつかのCode 128バーコードのデータを連結してから、ホスト コンピューターに送信できます。スキャナーは、連結のトリガー文字が含まれているCode 128バーコードを検出すると、連結のトリガー文字が含まれていないCode 128バーコードを読み取るまで、Code 128バーコードをバッファーします。その後、バーコードが読み取られた順番にデータが送信されます（先入れ先出し）。初期設定は、オンです。



128APP1.

*オン



128APP0.

オフ

Code 128のコード ページ

コード ページは、文字コードから文字へのマッピングを定義します。受信したデータが適切な文字で表示されない場合、スキャンされたバーコードは、ホスト プログラムが想定しているものとは異なるコード ページを使用して作成された可能性があります。その場合は、以下のバーコードをスキャンし、バーコードの作成に使われたコード ページを選択してから（A-7ページの[ISO 2022/ISO 646の文字置換](#)を参照してください）、このガイドの裏表紙内側にある[プログラミング チャート](#)で値をスキャンし、**[保存]**バーコードをスキャンします。データの文字が正しく表示されるようになります。



128DCP.

Code 128のコード ページ

GS1-128

<GS1-128のすべての設定を初期化>



GS1-128のオン/オフ



GS1-128のメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1～80です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は80です。



UPC-A

<UPC-Aのすべての設定を初期化>



UPC-Aのオン/オフ



注：UPC-AバーコードをEAN-13に変換するには、6-23ページの[UPC-AからEAN-13への変換](#)を参照してください。

UPC-Aのチェック デジット

この選択では、スキャンされたデータの末尾にチェック デジットを付加して送信するかどうかを指定できます。

初期設定は、オンです。



UPACKX1.

*オン



UPACKX0.

オフ

UPC-Aのナンバー システム

通常は、スキャンされたデータの先頭にUPC読み取りコードのナンバー システム デジットが送信されますが、それを送信しないようにユニットをプログラミングできます。初期設定は、オンです。



UPANSX1.

*オン



UPANSX0.

オフ

UPC-Aのアドオン

この選択では、スキャンされたすべてのUPC-Aデータの末尾に2桁または5桁を追加します。

初期設定は、2桁アドオンも5桁アドオンもオフです。



UPAAD21.

2桁アドオン オン



UPAAD20.

*2桁アドオン オフ



UPAAD51.

5桁アドオン オン



UPAAD50.

*5桁アドオン オフ

UPC-Aのアドオン必須

[必須]をスキャンすると、スキャナーはアドオンが含まれているUPC-Aバーコードのみを読み取ります。その場合、6-18ページに示されている2桁または5桁のアドオンをオンにする必要があります。初期設定は、[必須でない]です。



UPAARQ1.

必須



UPAARQ0.

*必須でない

UPC-Aのアドオンセパレーター

この機能がオンのときは、バーコード データとアドオン データの間にスペースがあります。オフのときは、スペースはありません。初期設定は、オンです。



UPAADS1.

*オン



UPAADS0.

オフ

拡張クーポンコード付きUPC-A/EAN-13

拡張クーポンコード付きUPC-AおよびEAN-13を有効または無効にするには、以下のコードを使用します。初期設定（オフ）のままにすると、スキャナーはクーポンコードおよび拡張クーポンコードを単一のバーコードとして扱います。

[連結許可]コードをスキャンすると、スキャナーは1回のスキャンでクーポンコードと拡張クーポンコードを見つけた場合、両方を1つの読み取りコードとして送信します。それ以外の場合は、最初に読み取ったクーポンコードを送信します。

[連結必須]コードをスキャンすると、データを送信するには1回のスキャンでクーポンコードと拡張クーポンコードを見つけて読み取る必要があります。両方のコードが読み取られなければデータは出力されません。初期設定は、オフです。



CPNENA0.

*オフ



CPNENA1.

連結許可



CPNENA2.

連結必須

クーポンGS1 DataBar出力

UPCコードとGS1 DataBarコードの両方が含まれているクーポンをスキャンする場合に、GS1 DataBarコードのデータのみをスキャンして出力することもできます。GS1 DataBarコードのデータのみをスキャンして出力するには、以下の[GS1出力オン]コードをスキャンします。初期設定は、[GS1出力オフ]です。



UPC-E0

<UPC-Eのすべての設定を初期化>



UPC-E0のオン/オフ

ほとんどのUPCバーコードは、0ナンバー システムで始まります。これらのコードを読み取るには、[UPC-E0オン]を使用します。1ナンバー システムで始まるコードを読み取る必要がある場合は、[UPC-E1](#) (6-22ページ) を使用します。初期設定は、オンです。



UPC-E0の拡張

UPC-Eの拡張は、UPC-Eコードを12桁のUPC-Aフォーマットに拡張します。初期設定は、オフです。



UPC-E0のアドオン必須

[必須]をスキャンすると、スキャナーはアドオンが含まれているUPC-Eバーコードのみを読み取ります。初期設定は、[必須でない]です。



UPEARQ1.

必須



UPEARQ0.

*必須でない

UPC-E0のアドオンセパレーター

この機能が**オン**のときは、バーコード データとアドオン データの間にスペースがあります。**オフ**のときは、スペースはありません。初期設定は、オンです。



UPEADS1.

*オン



UPEADS0.

オフ

UPC-E0のチェックディジット

チェック デジットでは、スキャンされたデータの末尾にチェック デジットを付加して送信するかどうかを指定します。初期設定は、オンです。



UPECKX1.

*オン



UPECKX0.

オフ

UPC-E0の先頭のゼロ

この機能を使用すると、スキャンされたデータの先頭にゼロ (0) を送信できます。送信しないようにするには、**オフ**をスキャンします。初期設定は、オンです。



UPENSX1.

*オン



UPENSX0.

オフ

UPC-E0のアドオン

この選択では、スキャンされたすべてのUPC-Eデータの末尾に2桁または5桁を追加します。初期設定は、2桁アドオンも5桁アドオンもオフです。



UPEAD21.
2桁アドオン オン



UPEAD51.
5桁アドオン オン



UPEAD20.
*2桁アドオン オフ



UPEAD50.
*5桁アドオン オフ

UPC-E1

ほとんどのUPCバーコードは、0ナンバー システムで始まります。これらのコードにはUPC-E0 (6-20ページ) を使用します。1ナンバー システムで始まるコードを読み取る必要がある場合は、[UPC-E1オン]を使用します。初期設定は、オフです。



UPEEN11.
UPC-E1オン



UPEEN10.
*UPC-E1オフ

EAN/JAN-13

<EAN/JANのすべての設定を初期化>



EAN/JAN-13のオン/オフ



UPC-AからEAN-13への変換

[UPC-AをEAN-13に変換]を選択すると、UPC-Aバーコードは13桁のEAN-13コードに変換され、先頭にゼロが付加されます。[UPC-Aを変換しない]を選択すると、UPC-AコードはUPC-Aとして読み取られます。



EAN/JAN-13のチェック デジット

この選択では、スキャンされたデータの末尾にチェック デジットを付加して送信するかどうかを指定できます。

初期設定は、オンです。



EAN/JAN-13のアドオン

この選択では、スキャンされたすべてのEAN/JAN-13データの末尾に2桁または5桁を追加します。初期設定は、2桁アドオンも5桁アドオンもオフです。



E13AD21.
2桁アドオン オン



E13AD51.
5桁アドオン オン



E13AD20.
*2桁アドオン オフ



E13AD50.
*5桁アドオン オフ

EAN/JAN-13のアドオン必須

[必須]をスキャンすると、スキャナーはアドオンが含まれているEAN/JAN-13バーコードのみを読み取ります。初期設定は、[必須でない]です。



E13ARQ1.
必須



E13ARQ0.
*必須でない

EAN/JAN-13のアドオン セパレーター

この機能が**オン**のときは、バーコード データとアドオン データの間にスペースがあります。**オフ**のときは、スペースはありません。初期設定は、オンです。



E13ADS1.
*オン



E13ADS0.
オフ

注：拡張クーポン コード付きEAN-13を有効または無効にするには、[拡張クーポン コード付きUPC-A/EAN-13](#)（6-19ページ）を参照してください。

ISBN変換

オンをスキャンすると、EAN-13 Bookland読み取りコードはそれと同等のISBN番号フォーマットに変換されます。初期設定は、オフです。



E13ISB1.
オン



E13ISB0.
*オフ

EAN/JAN-8

<EAN/JAN-8のすべての設定を初期化>



EA8DFT.

EAN/JAN-8のオン/オフ



EA8ENA1.
*オン



EA8ENA0.
オフ

EAN/JAN-8のチェック デジット

この選択では、スキャンされたデータの末尾にチェック デジットを付加して送信するかどうかを指定できます。

初期設定は、オンです。



EA8CKX1.
*オン



EA8CKX0.
オフ

EAN/JAN-8のアドオン

この選択では、スキャンされたすべてのEAN/JAN-8データの末尾に2桁または5桁を追加します。初期設定は、2桁アドオンも5桁アドオンもオフです。



EA8AD21.
2桁アドオン オン



EA8AD51.
5桁アドオン オン



EA8AD20.
*2桁アドオン オフ



EA8AD50.
*5桁アドオン オフ

EAN/JAN-8のアドオン必須

[必須]をスキャンすると、スキャナーはアドオンが含まれているEAN/JAN-8/バーコードのみを読み取ります。初期設定は、[必須でない]です。



EABARQ1.
必須



EABARQ0.
*必須でない

EAN/JAN-8のアドオンセパレーター

この機能が**オン**のときは、バーコード データとアドオン データの間にスペースがあります。**オフ**のときは、スペースはありません。初期設定は、オンです。



EABADS1.
*オン



EABADS0.
オフ

MSI

<MSIのすべての設定を初期化>



MSIのオン/オフ



MSIのチェックキャラクタ

MSIバーコードでは、いくつかの種類の種類チェックキャラクタが使用されます。タイプ10チェックキャラクタを使用するMSIバーコードを読み取るよう、スキャナーをプログラミングできます。初期設定は、[タイプ10を検証するが送信しない]です。

チェックキャラクタを[タイプ10/11を検証して送信]に設定すると、スキャナーは指定のタイプのチェックキャラクタ付きで印刷されたMSIバーコードのみを読み取った後、スキャンされたデータの末尾にこの文字を付加して送信します。

チェックキャラクタを[タイプ10/11を検証するが送信しない]に設定すると、ユニットは指定のタイプのチェックキャラクタ付きで印刷されたMSIバーコードのみを読み取り、スキャンされたデータにチェックキャラクタを付加しないで送信します。



*タイプ10を検証するが送信しない



2つのタイプ10文字を検証するが
送信しない



タイプ11文字の後でタイプ10文字を
検証するが送信しない



MSCHK6.

MSIのチェックキャラクタを
無効にする



MSCHK5.

タイプ11文字の後でタイプ10文字を
検証して送信

MSIのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は4～48です。最小長の初期設定値は4、最大長の初期設定値は48です。



MSIMIN.

最小メッセージ長



MSIMAX.

最大メッセージ長

GS1 DataBar Omnidirectional

<GS1 DataBar Omnidirectionalのすべての設定を初期化>



GS1 DataBar Omnidirectionalのオン/オフ



GS1 DataBar Limited

<GS1 DataBar Limitedのすべての設定を初期化>



GS1 DataBar Limitedのオン/オフ



GS1 DataBar Expanded

<GS1 DataBar Expandedのすべての設定を初期化>



GS1 DataBar Expandedのオン/オフ



GS1 DataBar Expandedのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は4~74です。最小長の初期設定値は4、最大長の初期設定値は74です。



Codablock A

<Codablock Aのすべての設定を初期化>



Codablock Aのオン/オフ



Codablock Aのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1～600です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は600です。



CBAMIN.
最小メッセージ長



CBAMAX.
最大メッセージ長

Codablock F

<Codablock Fのすべての設定を初期化>



CBFDFT.

Codablock Fのオン/オフ



CBFENA1.
オン



CBFENA0.
*オフ

Codablock Fのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1～2048です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は2048です。



CBFMIN.
最小メッセージ長



CBFMAX.
最大メッセージ長

PDF417

<PDF417のすべての設定を初期化>



PDF417のオン/オフ



PDF417のメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1～2750です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は2750です。



MacroPDF417

MacroPDF417はPDF417の1つの実装であり、大量のデータをエンコードして複数のPDF417バーコードに分割できます。この選択を有効にすると、このような複数のバーコードは単一のデータ文字列に組み立てられます。初期設定は、オンです。



MicroPDF417

<MicroPDF417のすべての設定を初期化>



MicroPDF417のオン/オフ



MicroPDF417のメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1~366です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は366です。



GS1コンポジットコード

一意の2Dコンポジットコンポーネントを線形コードに組み合わせることで、GS1コンポジットと呼ばれる新しいクラスの読み取りコードが形成されます。GS1コンポジット読み取りコードを使用すると、すでに使用中の読み取りコードを共存させることができます。初期設定は、オフです。



UPC/EANのバージョン

UPCまたはEAN線形コンポーネントを持つGS1コンポジット読み取りコードをデコードするには、[UPC/EANバージョン オン]バーコードをスキャンします（これはGS1-128またはGS1線形コンポーネントを持つGS1コンポジット読み取りコードには影響しません）。初期設定は、[UPC/EANバージョン オフ]です。



COMUPC1.

UPC/EANバージョン オン



COMUPCO.

*UPC/EANバージョン オフ

注：UPCコードとGS1 DataBarコードの両方が含まれているクーポンをスキャンする場合に、GS1 DataBarコードのデータのみをスキャンして出力することもできます。詳しくは、[クーポンGS1 DataBar出力](#)（6-20ページ）を参照してください。

GS1コンポジットコードのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1～2435です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は2435です。



COMMIN.

最小メッセージ長



COMMAX.

最大メッセージ長

GS1エミュレーション

スキャナーは任意のGS1データ キャリアからの出力を自動的にフォーマットして、同等のGS1-128またはGS1 DataBar読み取りコードへのエンコードをエミュレートできます。GS1データ キャリアには、UPC-AとUPC-E、EAN-13とEAN-8、ITF-14、GS1-128とGS1-128 DataBar、GS1コンポジットなどがあります（GS1データを受信するアプリケーションは、1種類のデータ キャリアを認識するだけで済むため、簡略化できます）。

[GS1-128エミュレーション]をスキャンすると、すべての小売コード（UPC、UPC-E、EAN-8、EAN-13）が16桁に拡張されます。AIM IDが有効になっている場合、この値はGS1-128のAIM IDである「J1」になります（A-1ページの[読み取りコード表](#)を参照してください）。

[GS1 DataBarエミュレーション]をスキャンすると、すべての小売コード（UPC、UPC-E、EAN-8、EAN-13）が16桁に拡張されます。AIM IDが有効になっている場合、この値はGS1-DataBarのAIM IDである「Jem」になります（A-1ページの[読み取りコード表](#)を参照してください）。

[GS1コード拡張オフ]をスキャンすると、小売コード拡張は無効になり、UPC-E拡張は[UPC-E0の拡張](#)（6-20ページ）の設定によって制御されます。AIM IDが有効になっている場合、この値はGS1-128のAIM IDである「J1」になります（A-1ページの[読み取りコード表](#)を参照してください）。

[EAN-8をEAN-13に変換]をスキャンすると、すべてのEAN-8バーコードがEAN-13フォーマットに変換されます。

初期設定は、[GS1エミュレーション オフ]です。



EANEMU1.

GS1-128エミュレーション



EANEMU3.
GS1コード拡張オフ



EANEMU0.
*GS1エミュレーションオフ



EANEMU2.
GS1 DataBarエミュレーション



EANEMU4.
EAN-8をEAN-13に変換

TCIF Linked Code 39 (TLC39)

このコードは、Code 39線形コンポーネントおよびMicroPDF417スタック コード コンポーネントを持っているため、コンポジット コードです。どのバーコードリーダーも、Code 39線形コンポーネントを読み取ることができます。MicroPDF417コンポーネントをデコードできるのは、[TLC39オン]が選択されている場合だけです。TLC39がオフになっている場合でも、線形コンポーネントをCode 39としてデコードできます。初期設定は、オフです。



T39ENA1.
オン



T39ENA0.
*オフ

QRコード

<QRコードのすべての設定を初期化>



QRCDFT.

QRコードのオン/オフ

この選択は、QRコードおよびMicro QRコードに適用されます。



QRCEA1.
*オン



QRCEA0.
オフ

QRコードのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1～7089です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は7089です。



QRCMIN.
最小メッセージ長



QRCMAX.
最大メッセージ長

QRコードの連結

この機能を使用すると、いくつかのQRコード バーコードのデータを連結してから、ホスト コンピューターに送信できます。スキャナーは、連結のトリガー文字が含まれているQRコード バーコードを検出すると、バーコードにエンコードされている情報によって指定された数だけ、QRコード バーコードをバッファーします。コードの数が適切な数に達すると、バーコードに指定されている順序でデータが出力されます。初期設定は、オンです。



QRCAPP1.
*オン



QRCAPP0.
オフ

QRコード ページ

QRコード ページは、文字コードから文字へのマッピングを定義します。受信したデータが適切な文字で表示されない場合、スキャンされたバーコードは、ホスト プログラムが想定しているものとは異なるコード ページを使用して作成された可能性があります。その場合は、以下のバーコードをスキャンし、バーコードの作成に使われたコード ページを選択してから（A-7ページの[ISO 2022/ISO 646の文字置換](#)を参照してください）、このガイドの裏表紙内側にある[プログラミング チャート](#)で値をスキャンし、**[保存]**バーコードをスキャンします。データの文字が正しく表示されるようになります。



QRCDP.
QRコード ページ

Data Matrix

<Data Matrixのすべての設定を初期化>



Data Matrixのオン/オフ



Data Matrixのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#) (6-1ページ) を参照してください。最小長および最大長は1~3116です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は3116です。



Data Matrixの連結

この機能を使用すると、いくつかのData Matrixバーコードのデータを連結してから、ホスト コンピューターに送信できます。スキャナーは、連結のトリガー文字が含まれているData Matrixバーコードを検出すると、バーコードにエンコードされている情報によって指定された数だけ、Data Matrixバーコードをバッファーします。コードの数が適切な数に達すると、バーコードに指定されている順序でデータが出力されます。初期設定は、オンです。



Data Matrixのコード ページ

Data Matrixコード ページは、文字コードから文字へのマッピングを定義します。受信したデータが適切な文字で表示されない場合、スキャンされたバーコードは、ホスト プログラムが想定しているものとは異なるコード ページを使用して作成された可能性があります。その場合は、以下のバーコードをスキャンし、バーコードの作成に使われたコード ページを選択してから（A-7ページの[ISO 2022/ISO 646の文字置換](#)を参照してください）、このガイドの裏表紙内側にある[プログラミング チャート](#)で値をスキャンし、**[保存]**バーコードをスキャンします。データの文字が正しく表示されるようになります。



IDMDCP.

Data Matrixのコード ページ

MaxiCode

<MaxiCodeのすべての設定を初期化>



MAXDFT.

MaxiCodeのオン/オフ



MAXENA1.

オン



MAXENA0.

*オフ

MaxiCodeのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1～150です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は150です。



MAXMIN.

最小メッセージ長



MAXMAX.

最大メッセージ長

Aztecコード

<Aztecコードのすべての設定を初期化>



Aztecコードのオン/オフ



Aztecコードのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1～3832です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は3832です。



Aztecの連結

この機能を使用すると、いくつかのAztecバーコードのデータを連結してから、ホスト コンピューターに送信できます。スキャナーは、連結のトリガー文字が含まれているAztecバーコードを検出すると、バーコードにエンコードされている情報によって指定された数だけ、Aztecバーコードをバッファーします。コードの数が適切な数に達すると、バーコードに指定されている順序でデータが出力されます。初期設定は、オンです。



Aztecのコード ページ

Aztecコード ページは、文字コードから文字へのマッピングを定義します。受信したデータが適切な文字で表示されない場合、スキャンされたバーコードは、ホスト プログラムが想定しているものとは異なるコード ページを使用して作成された可能性があります。その場合は、以下のバーコードをスキャンし、バーコードの作成に使われたコード ページを選択してから（A-7ページの[ISO 2022/ISO 646の文字置換](#)を参照してください）、このガイドの裏表紙内側にある[プログラミング チャート](#)で値をスキャンし、**[保存]**バーコードをスキャンします。データの文字が正しく表示されるようになります。



AZTDCP.

Aztecのコード ページ

Chinese Sensible (Han Xin) コード

<Han Xinのすべての設定を初期化>



HX_DFT.

Han Xinコードのオン/オフ



HX_ENA1.

オン



HX_ENA0.

*オフ

Han Xinコードのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1～7833です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は7833です。



HX_MIN.

最小メッセージ長



HX_MAX.

最大メッセージ長

郵便コード（2D）

以下に、使用可能な2D郵便コードおよび許可される2D郵便コードの組み合わせを示します。2D郵便コードは一度に1つだけ選択して有効にできます。2つ目の2D郵便コードをスキャンして選択すると、最初の選択は無効になります。初期設定は、[2D郵便コード オフ]です。



POSTAL0.

*2D郵便コードオフ

2D郵便コード（単独）



POSTAL1.

Australian Postオン



POSTAL30.

Canadian Postオン



POSTAL3.

日本郵便オン



POSTAL5.

Planet Codeオン

6-44ページのPlanet Codeの
チェック デジットも
参照してください。



POSTAL7.

British Postオン



POSTAL10.

Intelligent Mailバーコード オン



POSTAL4.

KIX Postオン



POSTAL9.

Postal-4iオン



POSTAL6.
Postnetオン
6-44ページのPostnetの
チェックディジットも
参照してください。



POSTAL2.
InfoMailオン

2D郵便コード（組み合わせ）



POSTAL8.
InfoMailとBritish Postオン



POSTAL14.
PostnetとPostal-4iオン



POSTAL17.
Postal-4iとIntelligent Mail
バーコードオン



POSTAL12.
Planet CodeとPostnetオン



POSTAL11.
Postnet BおよびB' フィールドオン



POSTAL20.
Intelligent MailバーコードとPostnet B
およびB' フィールドオン



POSTAL16.
PostnetとIntelligent Mail
バーコードオン



POSTAL19.
Postal-4iと
Postnet BおよびB' フィールドオン



POSTAL13.

Planet CodeとPostal-4iオン



POSTAL21.

Planet Code、Postnet、Postal-4iオン



POSTAL23.

Planet Code、Postal-4i、
Intelligent Mail/バーコードオン



POSTAL25.

Planet Code、Postal-4i、
Postnet BおよびB' フィールドオン



POSTAL27.

Postal-4i、Intelligent Mail/バーコード、
Postnet BおよびB' フィールドオン



POSTAL18.

Planet CodeとPostnet B
およびB' フィールドオン



POSTAL15.

Planet CodeとIntelligent Mail
バーコードオン



POSTAL22.

Planet Code、Postnet、
Intelligent Mail/バーコードオン



POSTAL24.

Postnet、Postal-4i、
Intelligent Mail/バーコードオン



POSTAL26.

Planet Code、Intelligent Mail/バーコード、
Postnet BおよびB' フィールドオン



POSTAL28.

Planet Code、Postal-4i、
Intelligent Mail/バーコード、Postnetオン



POSTAL29.

Planet Code、Postal-4i、
Intelligent Mail/バーコード、
Postnet BおよびB' フィールドオン

Planet Codeのチェック デジット

この選択では、Planet Codeデータの末尾にチェック デジットを付加して送信するかどうかを指定できます。初期設定は、[送信しない]です。



PLNCKX1.

チェック デジットを送信



PLNCKXD.

*チェック デジットを送信しない

Postnetのチェック デジット

この選択では、Postnetデータの末尾にチェック デジットを付加して送信するかどうかを指定できます。初期設定は、[送信しない]です。



NETCKX1.

チェック デジットを送信



NETCKXD.

*チェック デジットを送信しない

Australian Postの解釈

このオプションは、Australian 4-State読み取りコード内の顧客フィールドに、どの解釈を適用するかを制御します。

[バー出力]は、バー パターンを「0123」フォーマットで一覧表示します。

[数字Nテーブル]は、Nテーブルを使用してフィールドを数字データとして解釈させます。

[英数字Cテーブル]は、Cテーブルを使用してフィールドを英数字データとして解釈させます。Australian Postの仕様表を参照してください。

[CおよびNテーブルの組み合わせ]は、CまたはNテーブルを使用してフィールドを解釈させます。



AUSINT0.

*バー出力



AUSINT1.

数字Nテーブル



AUSINT2.

英数字Cテーブル



AUSINT3.

CおよびNテーブルの組み合わせ

郵便コード（線形）

以下に、線形郵便コードを示します。線形郵便コードは一度に任意の組み合わせで選択して有効にできます。

China Post（Hong Kong 2 of 5）

<China Post（Hong Kong 2 of 5）のすべての設定を初期化>



CPCDFT.

China Post（Hong Kong 2 of 5）のオン/オフ



CPCENA1.

オン



CPCENAD.

*オフ

China Post（Hong Kong 2 of 5）のメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は2～80です。最小長の初期設定値は4、最大長の初期設定値は80です。



CPCMIN.

最小メッセージ長



CPCMAX.

最大メッセージ長

Korea Post

<Korea Postのすべての設定を初期化>



Korea Post



Korea Postのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は2～80です。最小長の初期設定値は4、最大長の初期設定値は48です。



Korea Postのチェック デジット

この選択では、チェック デジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定は、[送信しない]です。



ユーティリティ

すべての読み取りコードにテストコードIDプレフィックスを追加する

この項目では、デコードされた読み取りコードの前にコードIDを送信する機能をオンにできます（各読み取りコードを識別する単一文字コードについては、A-1ページ以降の[読み取りコード表](#)を参照してください）。この操作では、まず現在のプレフィックスがすべて消去され、次にすべての読み取りコードに対してコードIDプレフィックスがプログラムされます。これは一時的な設定で、ユニットの電源を入れ直すと削除されます。



PRECA2,BK2995C80!

すべての読み取りコードへの
コードIDプレフィックスの追加（一時的）

デコーダーのリビジョンの表示

デコーダーのリビジョンを出力するには、以下のバーコードをスキャンします。



REV_DR.

デコーダーのリビジョンの表示

スキャンドライバーのリビジョンの表示

スキャンドライバーのリビジョンを出力するには、以下のバーコードをスキャンします。スキャンドライバーは画像のキャプチャを制御します。



REV_SD.

スキャンドライバーのリビジョンの表示

ソフトウェアのリビジョンの表示

スキャナーとベースの両方で、現在のソフトウェアのリビジョン、ユニットのシリアル番号、その他の製品情報を出力するには、以下のバーコードをスキャンします。



REVINF.

リビジョンの表示

データフォーマットの表示

現在のデータフォーマット設定を表示するには、以下のバーコードをスキャンします。



DFMBK3?.

データフォーマット設定

テストメニュー

テストメニューの[オン]コードをスキャンしてから、このガイドのプログラミングコードをスキャンすると、スキャナーにプログラミングコードの内容が表示されます。プログラミング機能は引き続き動作しますが、それに加えて、そのプログラミングコードの内容が端末に出力されます。

注：通常のスキャナー操作ではこの機能を使用しないでください。



[HP EZConfig-Scanning]の概要

[EZConfig-Scanning]は、PCに接続されたスキャナーで実行できる、PCベースのさまざまなプログラミング機能を提供します。[EZConfig-Scanning]では、スキャナーファームウェアのアップグレードのダウンロード、プログラム済みパラメーターの変更、プログラミングバーコードの作成と印刷を行うことができます。[EZConfig-Scanning]を使用すると、スキャナーのプログラミングパラメーターを保存したり開いたりすることもできます。この保存したファイルを電子メール送信したり、必要に応じて、カスタマイズしたプログラミングパラメーターをすべて含めた単一のバーコードを作成し、電子メールやFaxでどこへでも送信したりできます。他の場所にいるユーザーは、そのバーコードをスキャンして、カスタマイズしたプログラミングに読み込むことができます。

[HP EZConfig-Scanning]の操作

[EZConfig-Scanning]ソフトウェアは、以下の操作を実行します。

Scan Data（スキャンデータ）

[Scan Data]では、バーコードをスキャンし、バーコードデータをウィンドウに表示できます。[Scan Data]では、スキャナーにシリアルコマンドを送信し、スキャナーの応答を受信して[Scan Data]ウィンドウで確認できます。[Scan Data]ウィンドウに表示されたデータは、ファイルに保存または印刷できます。

Configure（構成）

[Configure]には、スキャナーのプログラミングおよび構成データが表示されます。スキャナーのプログラミングおよび構成データは、いくつかのカテゴリにグループ化されています。各カテゴリは、アプリケーションエクスプローラーで[Configure]ツリーノード下にツリー項目として表示されます。これらのツリーノードをクリックすると、その特定のカテゴリに属するパラメーターフォームが右側に読み込まれます。[Configure]ツリーオプションには、スキャナー用のプログラミングおよび構成パラメーターがすべて含まれています。これらのパラメーターは、必要に応じて設定または変更できます。その後、変更した設定をスキャナーに書き込んだり、dcfファイルに保存したりできます。

Webからの[HP EZConfig-Scanning]のインストール

注：[EZConfig-Scanning]には.NETソフトウェアが必要です。お使いのPCに.NETがインストールされていない場合は、[EZConfig-Scanning]のインストール時に.NETのインストールを求めるメッセージが表示されます。

1. HPのサポートWebサイト、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスします。
2. [製品]タブをクリックします。[ソフトウェア]の[Device Management]（デバイス管理）を選択します。
3. [EZConfig-Device Configuration Software]をクリックします。
4. [ソフトウェア]タブをクリックします。[EZConfig Cloud For Scanning]（オンライン版、アクセスには登録が必要）または[EZConfig for Scanning]（以下の手順に従ってお使いのPCにインストール）を選択します。
5. PCにインストールする場合は、メッセージが表示されたら[Save File]（ファイルの保存）を選択し、ファイルをc:\windows\tempディレクトリに保存します。

6. ファイルのダウンロードが終了したら、Webサイトを閉じます。
7. エクスプローラーを使用してc:\windows\tempのファイルにアクセスします。
8. Setup.exeファイルをダブルクリックします。画面の説明に沿って[EZConfig-Scanning]プログラムをインストールします。
9. インストール時に初期設定値を選択した場合は、[スタート]メニュー、[すべてのプログラム]、[EZConfig-Scanning]の順にクリックし、お使いのブラウザ用の[EZConfig]を選択します。

工場出荷時設定へのリセット



この項目では、ユーザー独自の設定をすべて消去し、スキャナーを元の工場出荷時設定にリセットできます。プラグインもすべて無効になります。

スキャナーにどのようなプログラミング オプションがあるかわからない場合や、一部のオプションの変更後にスキャナーを工場出荷時設定に戻したい場合は、[カスタム初期設定の削除]バーコードをスキャンしてから、[初期設定の有効化]をスキャンします。これによってスキャナーは工場出荷時設定にリセットされます。



DEFQVR.
カスタム初期設定の削除



DEFAULT.
初期設定の有効化

8-3ページ以降のメニュー コマンドには、各コマンドの工場出荷時設定の一覧が記載されています（プログラミング ページではアスタリスク（*）で示されています）。



シリアルプログラミングコマンド

プログラミングバーコードの代わりにシリアルプログラミングコマンドを使用できます。シリアルコマンドとプログラミングバーコードは、どちらもスキャナーをプログラムします。各シリアルプログラミングコマンドの説明と例については、このガイドに記載されている対応するプログラミングバーコードを参照してください。

デバイスはRS232インターフェイス向けに設定されている必要があります(2-1ページを参照してください)。以下のコマンドは、ターミナルエミュレーションソフトウェアを使用してPC COMポート経由で送信できます。

表記法

メニューコマンドおよびクエリコマンドの説明には、以下の表記法が使用されます。

parameter コマンドの一部として送信する実際の値を表すラベル。

[option] コマンドのオプション部分。

{Data} コマンド内の選択肢。

bold 画面に表示されるメニュー、メニューコマンド、ボタン、ダイアログボックス、およびウィンドウの名前。

メニューコマンドの構文

メニューコマンドの構文は以下のとおりです(スペースを使用しているのは、単にわかりやすくするためです)。

Prefix [:Name:]Tag SubTag {Data} [, SubTag {Data}] [: Tag SubTag {Data}] [...] Storage

Prefix 3つのASCII文字: **SYN M CR** (ASCII 22, 77, 13)。

Tag 目的のメニューコマンドグループを識別する、大文字と小文字が区別されない3文字のフィールド。たとえば、RS232構成の設定はすべて、**232**というTagで識別されます。

SubTag Tagのグループ内で目的のメニューコマンドを識別する、大文字と小文字が区別されない3文字のフィールド。たとえば、RS232ボーレートのSubTagは**BAD**です。

Data TagとSubTagで識別されるメニュー設定の新しい値。

Storage コマンドを適用するストレージテーブルを指定する1文字。感嘆符(!)は、デバイスの揮発性のメニュー構成テーブルにコマンド操作を実行します。ピリオド(.)は、デバイスの不揮発性のメニュー構成テーブルにコマンド操作を実行します。不揮発性のテーブルは、電源を入れ直したときにも保持したい半恒久的な変更のみ使用してください。

クエリコマンド

いくつかの特殊文字を使用してデバイスの設定を照会できます。

- ^ 設定の初期値。
- ? デバイスでの設定の現在値。
- * 設定に指定可能な値の範囲(デバイスの応答では、連続する値の範囲はダッシュ(-)で示されます。連続しない値はパイプ(|)で区切られたリストで示されます)。

:Name:フィールドの使用法(オプション)

このコマンドはスキャナーからクエリ情報を取得します。

Tagフィールドの使用法

Tagフィールドの代わりにクエリを使用すると、コマンドのStorageフィールドで指定された特定のストレージテーブルで使用可能なコマンドセット全体にクエリが適用されます。この場合、SubTagおよびDataフィールドはデバイスで無視されるため、使用しないでください。

SubTagフィールドの使用法

SubTagフィールドの代わりにクエリを使用すると、Tagフィールドに一致する使用可能な一部のコマンドのみにクエリが適用されます。この場合、Dataフィールドはデバイスで無視されるため、使用しないでください。

Dataフィールドの使用法

Dataフィールドの代わりにクエリを使用すると、TagフィールドとSubTagフィールドで識別される特定のコマンドのみにクエリが適用されます。

複数のコマンドの連結

1つのPrefix/Storageシーケンス内で複数のコマンドを発行できます。シーケンス内の各コマンドで繰り返す必要があるのは、Tag、SubTag、およびDataフィールドだけです。同じTagに適用するコマンドを追加する場合は、新しいコマンドシーケンスをコンマ(,)で区切り、追加のコマンドのSubTagフィールドおよびDataフィールドのみを発行します。追加のコマンドに別のTagフィールドが必要な場合は、コマンドをセミコロン(;)で前のコマンドから区切ります。

応答

デバイスはシリアルコマンドに対して以下の3つの応答を返します。

ACK コマンドが正常に処理されたことを示します。

ENQ TagまたはSubTagコマンドが無効であることを示します。

NAK コマンドは正しいが、Dataフィールドの入力がこのTagとSubTagの組み合わせで使用可能な範囲にないことを示します。たとえば、最小メッセージ長を100と入力したが、このフィールドは2文字しか受け付けられない場合などです。

応答時、デバイスはコマンドの各句読点(ピリオド、感嘆符、コンマ、またはセミコロン)の直前にステータス文字を挿入して、コマンドシーケンスをエコーバックします。

クエリコマンドの例

以下の例で、角括弧[]は表示されない応答を示しています。

例： [Codabarコード有効化]に指定可能な値の範囲は?

入力： cbrena*

応答： **CBRENA0-1[ACK]**

この応答は、[Codabarコード有効化](CBRENA)の値の範囲が0~1(オフおよびオン)であることを示しています。

例： [Codabarコード有効化]の初期設定値は?

入力： cbrena^

応答： **CBRENA1[ACK]**

この応答は、[Codabarコード有効化](CBRENA)の初期設定値が1(オン)であることを示しています。

例： デバイスでの[Codabarコード有効化]の現在値は?

入力： cbrena?

応答： **CBRENA1[ACK]**

この応答は、デバイスの[Codabarコード有効化](CBRENA)が1(オン)に設定されていることを示しています。

例： デバイスでのCodabarの全項目の設定は?

入力： cbr?

応答： **CBRENA1[ACK],
SSX0[ACK],
CK20[ACK],
CCT1[ACK],
MIN2[ACK],
MAX60[ACK],
DFT[ACK]**

この応答は以下のことを示しています。デバイスの[Codabarコード有効化](CBRENA)が1(オン)に設定されている。
[開始/終了文字](SSX)が0(送信しない)に設定されている。
[チェック文字](CK2)が0(必須でない)に設定されている。
[連結](CCT)が1(有効)に設定されている。

[最小メッセージ長] (MIN) が2文字に設定されている。
 [最大メッセージ長] (MAX) が60文字に設定されている。
 [初期設定] (DFT) には値がない。

トリガー コマンド

スキャナーをシリアル トリガー コマンドで有効化および無効化できます。まず、[手動トリガー モード]バーコードをスキャンするか (3-5ページ)、トリガー用のシリアル メニュー コマンドを送信することで (3-5ページ)、スキャナーを手動トリガー モードにする必要があります。スキャナーがシリアルトリガー モードになったら、以下のコマンドを送信してトリガーを有効化および無効化できます。

有効化: **SYN T CR**

無効化: **SYN U CR**

バーコードが読み取られるか、無効化コマンドが送信されるか、シリアルタイムアウト (詳しくは、3-5ページの[読み取りタイムアウト]、および8-8ページのシリアル コマンドを参照してください) に達するまで、スキャナーはスキャンを続行します。

カスタム初期設定へのリセット

お使いのスキャナーにカスタム初期設定を復元するには、下記の[カスタム初期設定の有効化]バーコードをスキャンします。これによってスキャナーはカスタム初期設定にリセットされます。カスタム初期設定が設定されていない場合、スキャナーは工場出荷時の設定にリセットされます。カスタム初期設定で指定されていない設定はすべて工場出荷時の設定に戻ります。



DEFAULT.

カスタム初期設定の有効化

以降のページの表には、各コマンドの工場出荷時設定の一覧が記載されています (プログラミング ページではアスタリスク (*) で示されています)。

メニュー コマンド

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアル コマンド #は数値入力を示す	ページ
製品の初期設定			
カスタム初期設定の指定	カスタム初期設定の指定	MNUCDP	1-2
	カスタムの初期設定の保存	MNUCDS	1-2
カスタム初期設定へのリセット	カスタム初期設定の有効化	DEFAULT	1-3
インターフェイスのプログラミング			
プラグアンドプレイコード	キーボードウェッジ: IBM PC ATおよび互換機、CRサフィックスあり	PAP_AT	2-1
ノートブック直接接続、CRサフィックスあり		PAPLTD	2-1
プラグアンドプレイコード: USB	USBキーボード (PC)	PAP124	2-1
	USBキーボード (Mac)	PAP125	2-1
	USB日本語キーボード (PC)	TRMUSB134	2-1
	USB HID	PAP131	2-2
	USBシリアル	TRMUSB130	2-2
	CTS/RTSエミュレーション オン	USBCTS1	2-2
	CTS/RTSエミュレーション オフ*	USBCTS0	2-2
	ACK/NAKモード オン	USBACK1	2-2
	ACK/NAKモード オフ*	USBACK0	2-2
キーボードの国別のプログラミング	*米国	KBDCTY0	2-3

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアル コマンド #は数値入力を示す	ページ
	アルバニア	KBDCTY35	2-3
	アゼリー語 (キリル)	KBDCTY81	2-3
	アゼリー語 (ラテン)	KBDCTY80	2-3
	ベラルーシ	KBDCTY82	2-3
	ベルギー	KBDCTY1	2-3
	ボスニア	KBDCTY33	2-3
	ブラジル	KBDCTY16	2-3
	ブラジル (MS)	KBDCTY59	2-3
	ブルガリア (キリル)	KBDCTY52	2-3
	ブルガリア (ラテン)	KBDCTY53	2-4
	カナダ (フランス語レガシー)	KBDCTY54	2-4
	カナダ (フランス語)	KBDCTY18	2-4
	カナダ (マルチリンガル)	KBDCTY55	2-4
	クロアチア	KBDCTY32	2-4
	チェコ語	KBDCTY15	2-4
	チェコ語 (プログラマー)	KBDCTY40	2-4
	チェコ語 (QWERTY)	KBDCTY39	2-4
	チェコ語 (QWERTZ)	KBDCTY38	2-4
	デンマーク	KBDCTY8	2-4
	オランダ語 (オランダ)	KBDCTY11	2-4
	エストニア	KBDCTY41	2-5
	フェロー語	KBDCTY83	2-5
	フィンランド	KBDCTY2	2-5
	フランス	KBDCTY3	2-5
	ゲール語	KBDCTY84	2-5
	ドイツ	KBDCTY4	2-5
	ギリシャ語	KBDCTY17	2-5
	ギリシャ語 (220ラテン)	KBDCTY64	2-5
	ギリシャ語 (220)	KBDCTY61	2-5
	ギリシャ語 (319ラテン)	KBDCTY65	2-5
	ギリシャ語 (319)	KBDCTY62	2-5
	ギリシャ語 (ラテン)	KBDCTY63	2-6
	ギリシャ語 (MS)	KBDCTY66	2-6
	ギリシャ語 (Polytonic)	KBDCTY60	2-6
	ヘブライ語	KBDCTY12	2-6
	ハンガリー語 (101キー)	KBDCTY50	2-6
	ハンガリー	KBDCTY19	2-6
	アイスランド	KBDCTY75	2-6
	アイルランド語	KBDCTY73	2-6
	イタリア語 (142)	KBDCTY56	2-6
	イタリア	KBDCTY5	2-6
	日本ASCII	KBDCTY28	2-6
	カザフ語	KBDCTY78	2-7

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアル コマンド #は数値入力を示す	ページ
	キルギス語 (キリル)	KBDCTY79	2-7
	ラテンアメリカ	KBDCTY14	2-7
	ラトビア	KBDCTY42	2-7
	ラトビア (QWERTY)	KBDCTY43	2-7
	リトアニア	KBDCTY44	2-7
	リトアニア (IBM)	KBDCTY45	2-7
	マケドニア	KBDCTY34	2-7
	マルタ	KBDCTY74	2-7
	モンゴル語 (キリル)	KBDCTY86	2-7
	ノルウェー	KBDCTY9	2-7
	ポーランド	KBDCTY20	2-8
	ポーランド語 (214)	KBDCTY57	2-8
	ポーランド語 (プログラマー)	KBDCTY58	2-8
	ポルトガル	KBDCTY13	2-8
	ルーマニア	KBDCTY25	2-8
	ロシア	KBDCTY26	2-8
	ロシア語 (MS)	KBDCTY67	2-8
	ロシア語 (タイプライター)	KBDCTY68	2-8
	SCS	KBDCTY21	2-8
	セルビア (キリル)	KBDCTY37	2-8
	セルビア (ラテン)	KBDCTY36	2-8
	スロバキア	KBDCTY22	2-9
	スロバキア (QWERTY)	KBDCTY49	2-9
	スロバキア (QWERTZ)	KBDCTY48	2-9
	スロベニア	KBDCTY31	2-9
	スペイン	KBDCTY10	2-9
	スペイン語バリエーション	KBDCTY51	2-9
	スウェーデン	KBDCTY23	2-9
	スイス (フランス語)	KBDCTY29	2-9
	スイス (ドイツ語)	KBDCTY6	2-9
	タタール語	KBDCTY85	2-9
	トルコF	KBDCTY27	2-9
	トルコQ	KBDCTY24	2-10
	ウクライナ語	KBDCTY76	2-10
	イギリス	KBDCTY7	2-10
	米国 (Dvorak右)	KBDCTY89	2-10
	米国 (Dvorak左)	KBDCTY88	2-10
	米国 (Dvorak)	KBDCTY87	2-10
	米国 (インターナショナル)	KBDCTY30	2-10
	ウズベク語 (キリル)	KBDCTY77	2-10
キーボード変換	*キーボード変換オフ	KBDCNV0	2-11
	すべての文字を大文字に変換	KBDCNV1	2-11
	すべての文字を小文字に変換	KBDCNV1	2-11

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアル コマンド #は数値入力を示す	ページ
キーボードスタイル	*標準	KBDSTY0	2-10
	Caps Lock	KBDSTY1	2-10
	Shift Lock	KBDSTY2	2-11
	自動Caps Lock	KBDSTY6	2-11
	外付けキーボードのエミュレート	KBDSTY5	2-11
制御文字の出力	*制御文字の出力オフ	KBDNPE0	2-12
	*制御文字の出力オン	KBDNPE1	2-12
キーボード修飾子	*Control + ASCIIオフ	KBDCAS0	2-12
	DOSモード Control + ASCII	KBDCAS1	2-12
	Windowsモード Control + ASCII	KBDCAS2	2-12
	Windowsモード プレフィックス/サフィックス オフ	KBDCAS3	2-12
	*ターボモードオフ	KBDTMD0	2-13
	ターボモードオン	KBDTMD1	2-13
	*テンキー オフ	KBDNPS0	2-13
	テンキー オン	KBDNPS1	2-13
	*自動直接接続オフ	KBDADC0	2-13
	自動直接接続オン	KBDADC1	2-13
ボーレート	300 BPS	232BAD0	2-13
	600 BPS	232BAD1	2-13
	1200 BPS	232BAD2	2-14
	2400 BPS	232BAD3	2-14
	4800 BPS	232BAD4	2-14
	9600 BPS	232BAD5	2-14
	19200 BPS	232BAD6	2-14
	38400 BPS	232BAD7	2-14
	57600 BPS	232BAD8	2-14
*115200 BPS	232BAD9	2-14	
ワード長 : データ ビット、ストップ ビット、およびパリティ	7データ、1ストップ、パリティ偶数	232WRD3	2-14
	7データ、1ストップ、パリティなし	232WRD0	2-15
	7データ、1ストップ、パリティ奇数	232WRD6	2-15
	7データ、2ストップ、パリティ偶数	232WRD4	2-15
	7データ、2ストップ、パリティなし	232WRD1	2-15
	7データ、2ストップ、パリティ奇数	232WRD7	2-15
	8データ、1ストップ、パリティ偶数	232WRD5	2-15
	*8データ、1ストップ、パリティなし	232WRD2	2-15
	8データ、1ストップ、パリティ奇数	232WRD8	2-15
RS232レシーバー タイムアウト	範囲0 ~ 300秒	232LPT###	2-15
RS232ハンドシェイク	*RTS/CTSオフ	232CTS0	2-16
	フロー制御、タイムアウトなし	232CTS1	2-16
	2方向フロー制御	232CTS2	2-16
	フロー制御、タイムアウトあり	232CTS3	2-16

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアル コマンド #は数値入力を示す	ページ
	RS232タイムアウト	232DEL####	2-16
	*XON/XOFFオフ	232XON0	2-16
	XON/XOFFオン	232XON1	2-16
	*ACK/NAKオフ	232ACK0	2-17
	ACK/NAKオン	232ACK1	2-17
入出力の選択項目			
電源投入ビープ音	電源投入ビープ音オフ：スキャナー	BEPPWR0	3-1
	*電源投入ビープ音オン：スキャナー	BEPPWR1	3-1
BEL文字でビープ音を鳴らす	BELでのビープ音オン	BELBEP1	3-1
	*BELでのビープ音オフ	BELBEP0	3-1
トリガー クリック音	オン	BEPTRG1	3-1
	*オフ	BEPTRG0	3-1
BEL文字でビープ音を鳴らす	BELでのビープ音オン	BELBEP1	3-1
	*BELでのビープ音オフ	BELBEP0	3-1
ビープ音：読み取り成功	オフ	BEPBEP0	3-2
	*オン	BEPBEP1	3-2
ビープ音量：読み取り成功	オフ	BEPLVL0	3-2
	小	BEPLVL1	3-2
	中	BEPLVL2	3-2
	*大	BEPLVL3	3-2
ビープ音程：読み取り成功（周波数）	低（1600）（最小400 Hz）	BEPFQ11600	3-2
	*中（2400）	BEPFQ12400	3-2
	高（4200）（最大9000 Hz）	BEPFQ14200	3-3
ビープ音程：エラー（周波数）	*Razz（250）（最小200 Hz）	BEPFQ2800	3-3
	*中（3250）	BEPFQ23250	3-3
	高（4200）（最大9000 Hz）	BEPFQ24200	3-3
ビープ音の長さ：読み取り成功	*標準のビープ音	BEPBIP0	3-3
	短いビープ音	BEPBIP1	3-3
LED：読み取り成功	オフ	BEPLD0	3-3
	*オン	BEPLD1	3-3
ビープ音の回数：エラー	*1	BEPERR3	3-4
	範囲1～9	BEPERR#	3-4
ビープ音の回数：読み取り成功	*1	BEPRPT1	3-4
	範囲1～9	BEPRPT#	3-4
読み取り成功遅延	*遅延なし	DLYGRD0	3-4
	短い遅延（500ミリ秒）	DLYGRD500	3-4
	中程度の遅延（1000ミリ秒）	DLYGRD1000	3-4
	長い遅延（1500ミリ秒）	DLYGRD1500	3-4
ユーザー指定の読み取り成功遅延	範囲0～30,000ミリ秒	DLYGRD#####	3-4
手動トリガー モード	*手動トリガー：標準	PAPHIF	3-5
LED照明：手動トリガー	低	PWRNOL7	3-5
	中	PWRNOL15	3-5
	中-高	PWRNOL50	3-5

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアル コマンド #は数値入力を示す	ページ
	*高	PWRNOL150	3-5
シリアルトリガー モード	読み取りタイムアウト (範囲0~300,000) *30,000	TRGSTO#####	3-5
プレゼンテーション	プレゼンテーション モード	PAPPST	3-6
アイドル時の照明：プレゼンテーションモード	低	PWRIDL7	3-6
	中	PWRIDL15	3-6
	*高	PWRIDL50	3-6
プレゼンテーション感度	範囲0~20 (*1)	TRGPMS##	3-6
プレゼンテーション センタリング ウィンドウ	プレゼンテーション センタリング オン	PDCWIN1	3-7
	*プレゼンテーション センタリング オフ	PDCWIN0	3-7
	プレゼンテーション センタリング ウィンドウ 左辺 (*40%)	PDCLFT###	3-8
	プレゼンテーション センタリング ウィンドウ 右辺 (*60%)	PDCRGT###	3-8
	プレゼンテーション センタリング ウィンドウ 上辺 (*40%)	PDCTOP###	3-7
	プレゼンテーション センタリング ウィンドウ 下辺 (*60%)	PDCBOT###	3-7
スタンド装着時のセンサー モード	*センサー オン	TRGSSW1	3-8
	センサー オフ	TRGSSW0	3-8
低品質コード	低品質1D読み取りオン	DECLDI1	3-8
	*低品質1D読み取りオフ	DECLDI0	3-8
	低品質PDF読み取りオン	PDFXPR1	3-9
	*低品質PDF読み取りオフ	PDFXPRO	3-9
CodeGate	*スタンド非装着時CodeGateオフ	AOSCGD0.	3-9
	スタンド非装着時CodeGateオン	AOSCGD1.	3-9
携帯電話読み取りモード	ハンドヘルド スキャン：携帯電話	PAPHHC	3-9
ハンズフリー タイムアウト	範囲0~300,000ミリ秒	TRGPT0#####	3-10
再読み取り遅延	短 (500ミリ秒)	DLYRRD500	3-10
	*中 (750ミリ秒)	DLYRRD750	3-10
	長 (1000ミリ秒)	DLYRRD1000	3-10
	極長 (2000ミリ秒)	DLYRRD2000	3-10
2D再読み取り遅延	*2D再読み取り遅延オフ	DLY2RR0	3-10
	短 (1000ミリ秒)	DLY2RR1000	3-11
	中 (2000ミリ秒)	DLY2RR2000	3-11
	長 (3000ミリ秒)	DLY2RR3000	3-11
	極長 (4000ミリ秒)	DLY2RR4000	3-11
文字有効化モード	*オフ	HSTCEN0	3-11
	オン	HSTCEN1	3-11
	有効化文字	HSTACH##	3-11
	読み取り成功後に文字有効化を終了しない	HSTCGD0	3-12
	*読み取り成功後に文字有効化を終了	HSTCGD1	3-12
	文字有効化タイムアウト (範囲1~65525) *5000ミリ秒	HSTCDT#####	3-12

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアル コマンド #は数値入力を示す	ページ
文字無効化モード	*オフ	HSTDEN0	3-12
	オン	HSTDEN1	3-12
	無効化文字	HSTDCH##	3-12
ユーザー指定の再読み取り遅延	範囲0 ~ 30,000ミリ秒	DLYRRD#####	3-10
照明光	*ライト オン	SCNLED1	3-13
	ライトオフ	SCNLED0	3-13
照準遅延	200ミリ秒	SCNDLY200	3-13
	400ミリ秒	SCNDLY400	3-13
	*オフ (遅延なし)	SCNDLY0	3-13
ユーザー指定の照準遅延	範囲0 ~ 4,000ミリ秒	SCNDLY####	3-13
照準モード	オフ	SCNAIM0	3-13
	*インターレース	SCNAIM2	3-14
センタリングウィンドウ	センタリングオン	DECWIN1	3-14
	*センタリングオフ	DECWIN0	3-15
	センタリングウィンドウ左辺 (*40%)	DECLFT###	3-15
	センタリングウィンドウ右辺 (*60%)	DECRGT###	3-15
	センタリングウィンドウ上辺 (*40%)	DECTOP###	3-15
	センタリングウィンドウ下辺 (*60%)	DECBOT###	3-15
No Read	オン	SHWNRD1	3-15
	*オフ	SHWNRD0	3-15
ビデオ反転	ビデオ反転のみ	VIDREV1	3-16
	ビデオ反転および標準のバーコード	VIDREV2	3-16
	*ビデオ反転オフ	VIDREV0	3-16
読み取り方向	*直立	ROTATN0	3-17
	垂直、先頭下 (反時計方向に90° 回転)	ROTATN1	3-17
	上下逆さま	ROTATN2	3-17
	垂直、先頭上 (時計方向に90° 回転)	ROTATN3	3-17
プレフィックス/サフィックスの選択項目			
すべての読み取りコードにCRサフィックスを追加		VSUF CR	4-2
プレフィックス	プレフィックスの追加	PREBK2##	4-2
	1つのプレフィックスを消去	PRECL2	4-2
	すべてのプレフィックスを消去	PRECA2	4-2
サフィックス	サフィックスの追加	SUFBK2##	4-2
	1つのサフィックスを消去	SUFCL2	4-2
	すべてのサフィックスを消去	SUFCA2	4-2
ファンクション コードの送信	*有効	RMVFNC0	4-3
	無効	RMVFNC1	4-3
文字間遅延	範囲0 ~ 1000 (5ミリ秒刻み)	DLYCHR##	4-3
ユーザー指定の文字間遅延	遅延時間 0 ~ 1000 (5ミリ秒刻み)	DLYCRX##	4-4
	遅延を発生させる文字	DLY_XX##	4-4
ファンクション間遅延	範囲0 ~ 1000 (5ミリ秒刻み)	DLYFNC##	4-4
メッセージ間遅延	範囲0 ~ 1000 (5ミリ秒刻み)	DLYMSG##	4-4

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアル コマンド #は数値入力を示す	ページ
データフォーマッターの選択項目			
データフォーマット エディター	*初期設定のデータフォーマット (なし)	DFMDF3	5-1
	データフォーマットの入力	DFMBK3##	5-2
	1つのデータフォーマットを消去	DFMCL3	5-2
	すべてのデータフォーマットを消去	DFMCA3	5-2
データフォーマッター	データフォーマッター オフ	DFM_EN0	5-9
	*データフォーマッター オン、必須でない、プレフィックス/サフィックスを保持	DFM_EN1	5-9
	データフォーマット必須、プレフィックス/サフィックスを保持	DFM_EN2	5-9
メインのデータフォーマット/代替のデータフォーマット	メインのデータフォーマット	ALTFNM0	5-9
	データフォーマット1	ALTFNM1	5-9
	データフォーマット2	ALTFNM2	5-9
	データフォーマット3	ALTFNM3	5-10
読み取りコード			
すべての読み取りコード	すべての読み取りコードをオフ	ALLENA0	6-1
	すべての読み取りコードをオン	ALLENA1	6-1
Codabar	Codabarのすべての設定を初期化	CBRDFT	6-2
	オフ	CBRENA0	6-2
	*オン	CBRENA1	6-2
Codabarのスタート/ストップキャラクタ	*送信しない	CBRSSX0	6-2
	送信	CBRSSX1	6-2
Codabarのチェックキャラクタ	*チェックキャラクタなし	CBRCK20	6-3
	検証するが送信しない	CBRCK21	6-3
	検証して送信	CBRCK22	6-3
Codabarの連結	*オフ	CBRCCT0	6-3
	オン	CBRCCT1	6-3
	必須	CBRCCT2	6-3
Codabarのメッセージ長	最小 (2~60) *4	CBRMIN##	6-3
	最大 (2~60) *60	CBRMAX##	6-4
Code 39	Code 39のすべての設定を初期化	C39DFT	6-4
	オフ	C39ENA0	6-4
	*オン	C39ENA1	6-4
Code 39のスタート/ストップキャラクタ	*送信しない	C39SSX0	6-4
	送信	C39SSX1	6-4
Code 39のチェックキャラクタ	*チェックキャラクタなし	C39CK20	6-4
	検証するが送信しない	C39CK21	6-5
	検証して送信	C39CK22	6-5

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアル コマンド #は数値入力を示す	ページ
Code 39のメッセージ長	最小 (0 ~ 48) *0	C39MIN##	6-5
	最大 (0 ~ 48) *48	C39MAX##	6-5
Code 39の連結	*オフ	C39APP0	6-5
	オン	C39APP1	6-5
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)	*オフ	C39B320	6-5
	オン	C39B321	6-5
Code 39 Full ASCII	*オフ	C39ASCO	6-6
	オン	C39ASC1	6-6
	Code 39のコード ページ	C39DCP	6-6
Interleaved 2 of 5	Interleaved 2 of 5のすべての設定を初期化	I25DFT	6-7
	オフ	I25ENA0	6-7
	*オン	I25ENA1	6-7
Interleaved 2 of 5のチェック デジット	*チェックキャラクタなし	I25CK20	6-7
	検証するが送信しない	I25CK21	6-7
	検証して送信	I25CK22	6-7
Interleaved 2 of 5のメッセージ長	最小 (2 ~ 80) *4	I25MIN##	6-7
	最大 (2 ~ 80) *80	I25MAX##	6-8
NEC 2 of 5	NEC 2 of 5のすべての設定を初期化	N25DFT	6-8
	オフ	N25ENA0	6-8
	*オン	N25ENA1	6-8
NEC 2 of 5のチェック デジット	*チェックキャラクタなし	N25CK20	6-8
	検証するが送信しない	N25CK21	6-8
	検証して送信	N25CK22	6-8
NEC 2 of 5のメッセージ長	最小 (2 ~ 80) *4	N25MIN##	6-9
	最大 (2 ~ 80) *80	N25MAX##	6-9
Code 93	Code 93のすべての設定を初期化	C93DFT	6-9
	オフ	C93ENA0	6-9
	*オン	C93ENA1	6-11
Code 93のメッセージ長	最小 (0 ~ 80) *0	C93MIN##	6-9
	最大 (0 ~ 80) *80	C93MAX##	6-9
Code 93の連結	オン	C93APP1	6-10
	*オフ	C93APP0	6-10
Code 93のコード ページ	Code 93のコード ページ	C93DCP	6-10
Straight 2 of 5 Industrial	Straight 2 of 5 Industrialのすべての設定を初期化	R25DFT	6-11
	*オフ	R25ENA0	6-11
	オン	R25ENA1	6-11
Straight 2 of 5 Industrialのメッセージ長	最小 (1 ~ 48) *4	R25MIN##	6-11
	最大 (1 ~ 48) *48	R25MAX##	6-11

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアル コマンド #は数値入力を示す	ページ
Straight 2 of 5 IATA	Straight 2 of 5 IATAのすべての設定を初期化	A25DFT	6-12
Straight 2 of 5 IATA	*オフ	A25ENAO	6-12
	オン	A25ENA1	6-12
Straight 2 of 5 IATAのメッセージ長	最小 (1 ~ 48) *4	A25MIN##	6-12
	最大 (1 ~ 48) *48	A25MAX##	6-12
Matrix 2 of 5	Matrix 2 of 5のすべての設定を初期化	X25DFT	6-13
	*オフ	X25ENAO	6-13
	オン	X25ENA1	6-13
Matrix 2 of 5のメッセージ長	最小 (1 ~ 80) *4	X25MIN##	6-13
	最大 (1 ~ 80) *80	X25MAX##	6-13
Code 11	Code 11のすべての設定を初期化	C11DFT	6-14
	*オフ	C11ENAO	6-14
	オン	C11ENA1	6-14
Code 11の必要なチェック デジット	1桁チェック デジット	C11CK20	6-14
	*2桁チェック デジット	C11CK21	6-14
Code 11のメッセージ長	最小 (1 ~ 80) *4	C11MIN##	6-14
	最大 (1 ~ 80) *80	C11MAX##	6-14
Code 128	Code 128のすべての設定を初期化	128DFT	6-15
	オフ	128ENAO	6-15
	*オン	128ENA1	6-15
ISBTの連結	*オフ	ISBENAO	6-15
	オン	ISBENA1	6-15
Code 128のメッセージ長	最小 (0 ~ 80) *0	128MIN##	6-15
	最大 (0 ~ 80) *80	128MAX##	6-15
Code 128の連結	*オン	128APP1	6-15
	オフ	128APP0	6-16
Code 128のコード ページ	Code 128のコード ページ (*2)	128DCP##	6-16
GS1-128	GS1-128のすべての設定を初期化	GS1DFT	6-17
	*オン	GS1ENA1	6-17
	オフ	GS1ENAO	6-17
GS1-128のメッセージ長	最小 (1 ~ 80) *1	GS1MIN##	6-17
	最大 (0 ~ 80) *80	GS1MAX##	6-17
UPC-A	UPC-Aのすべての設定を初期化	UPADFT	6-17
	オフ	UPAENAO	6-18
	*オン	UPAENA1	6-18
UPC-Aのチェック デジット	オフ	UPACKX0	6-17
	*オン	UPACKX1	6-18

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアル コマンド #は数値入力を示す	ページ
UPC-Aのナンバー システム	オフ	UPANSX0	6-18
	*オン	UPANSX1	6-18
UPC-Aの2桁アドオン	*オフ	*UPAAD20	6-18
	オン	UPAAD21	6-18
UPC-Aの5桁アドオン	*オフ	*UPAAD50	6-18
	オン	UPAAD51	6-18
UPC-Aのアドオン必須	*必須でない	UPAARQ0	6-19
	必須	UPAARQ1	6-19
UPC-Aのアドオン セパレーター	オフ	UPAADS0	6-19
	*オン	UPAADS1	6-19
拡張クーポンコード付きUPC-A/EAN-13	*オフ	*CPNENA0	6-19
	連結許可	CPNENA1	6-19
	連結必須	CPNENA2	6-19
クーポンGS1 DataBar出力	GS1出力オフ	*CPNGS10	6-20
	GS1出力オン	CPNGS11	6-20
UPC-E0	UPC-Eのすべての設定を初期化	UPEDFT	6-20
	オフ	UPEEN00	6-20
	*オン	*UPEEN01	6-20
UPC-E0の拡張	*オフ	UPEEXP0	6-20
	オン	UPEEXP1	6-20
UPC-E0のアドオン必須	必須	UPEARQ1	6-21
	*必須でない	UPEARQ0	6-21
UPC-E0のアドオン セパレーター	*オン	UPEADS1	6-21
	オフ	UPEADS0	6-21
UPC-E0のチェック デジット	オフ	UPECKX0	6-21
	*オン	UPECKX1	6-21
UPC-E0のナンバー システム	オフ	UPENSX0	6-21
	*オン	UPENSX1	6-21
UPC-E0のアドオン	2桁アドオン オン	UPEAD21	6-22
	*2桁アドオン オフ	UPEAD20	6-22
	5桁アドオン オン	UPEAD51	6-22
	*5桁アドオン オフ	UPEAD50	6-22
UPC-E1	*オフ	UPEEN10	6-22
	オン	UPEEN11	6-22
EAN/JAN-13	EAN/JANのすべての設定を初期化	E13DFT	6-23
	オフ	E13ENAO	6-23
	*オン	E13ENA1	6-23
EAN/JAN-13のチェック デジット	オフ	E13CKX0	6-23
	*オン	E13CKX1	6-23
EAN/JAN-13の2桁アドオン	2桁アドオン オン	E13AD21	6-24
	*2桁アドオン オフ	E13AD20	6-24

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアル コマンド #は数値入力を示す	ページ
	5桁アドオン オン	E13AD51	6-24
	*5桁アドオン オフ	E13AD50	6-24
EAN/JAN-13のアドオン必須	*必須でない	E13ARQ0	6-24
	必須	E13ARQ1	6-24
EAN/JAN-13のアドオン セパレーター	オフ	E13ADS0	6-24
	*オン	E13ADS1	6-24
ISBN変換	*オフ	E13ISB0	6-25
	オン	E13ISB1	6-25
EAN/JAN-8	EAN/JAN-8のすべての設定を初期化	EA8DFT	6-25
	オフ	EA8ENA0	6-25
	*オン	EA8ENA1	6-25
EAN/JAN-8のチェック デジット	オフ	EA8CKX0	6-25
	*オン	EA8CKX1	6-25
EAN/JAN-8のアドオン	*2桁アドオン オフ	EA8AD20	6-26
	2桁アドオン オン	EA8AD21	6-26
	*5桁アドオン オフ	EA8AD50	6-26
	5桁アドオン オン	EA8AD51	6-26
EAN/JAN-8のアドオン必須	*必須でない	EA8ARQ0	6-26
	必須	EA8ARQ1	6-26
EAN/JAN-8のアドオン セパレーター	オフ	EA8ADS0	6-26
	*オン	EA8ADS1	6-26
MSI	MSIのすべての設定を初期化	MSIDFT	6-27
	*オフ	MSIENA0	6-27
	オン	MSIENA1	6-27
MSIのチェックキャラクタ	*タイプ10を検証するが送信しない	MSICHK0	6-27
	タイプ10を検証して送信	MSICHK1	6-27
	2つのタイプ10文字を検証するが送信しない	MSICHK2	6-27
	2つのタイプ10文字を検証して送信	MSICHK3	6-27
	タイプ10文字の後でタイプ11文字を検証するが送信しない	MSICHK4	6-27
	タイプ10文字の後でタイプ11文字を検証して送信	MSICHK5	6-28
	MSIのチェックキャラクタを無効にする	MSICHK6	6-28
MSIのメッセージ長	最小 (4 ~ 48) *4	MSIMIN##	6-28
	最大 (4 ~ 48) *48	MSIMAX##	6-28
GS1 DataBar Omnidirectional	GS1 DataBar Omnidirectionalのすべての設定を初期化	RSSDFT	6-29
	オフ	RSSENA0	6-29
	*オン	RSSENA1	6-29
GS1 DataBar Limited	GS1 DataBar Limitedのすべての設定を初期化	RSLDFT	6-29
	オフ	RSLENA0	6-29

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアル コマンド #は数値入力を示す	ページ
	*オン	RSLENA1	6-29
GS1 DataBar Expanded	GS1 DataBar Expandedのすべての設定を初期化	RSEDFT	6-30
	オフ	RSEENA0	6-30
	*オン	RSEENA1	6-30
GS1 DataBar Expandedのメッセージ長	最小 (4 ~ 74) *4	RSEMIN##	6-30
	最大 (4 ~ 74) *74	RSEMAX##	6-30
Codablock A	Codablock Aのすべての設定を初期化	CBADFT	6-30
	*オフ	CBAENA0	6-30
	オン	CBAENA1	6-30
Codablock Aのメッセージ長	最小 (1 ~ 600) *1	CBAMIN####	6-31
	最大 (1 ~ 600) *600	CBAMAX####	6-31
Codablock F	Codablock Fのすべての設定を初期化	CBFDFT	6-31
	*オフ	CBFENA0	6-31
	オン	CBFENA1	6-31
Codablock Fのメッセージ長	最小 (1 ~ 2048) *1	CBFMIN####	6-31
	最大 (1 ~ 2048) *2048	CBFMAX####	6-31
PDF417	PDF417のすべての設定を初期化	PDFDFT	6-32
	*オン	PDFENA1	6-32
	オフ	PDFENA0	6-32
PDF417のメッセージ長	最小 (1 ~ 2750) *1	PDFMIN####	6-32
	最大 (1 ~ 2750) *2750	PDFMAX####	6-32
MacroPDF417	*オン	PDFMAC1	6-32
	オフ	PDFMAC0	6-32
MicroPDF417	MicroPDF417のすべての設定を初期化	MPDDFT	6-33
	オン	MPDENA1	6-33
	*オフ	MPDENA0	6-33
MicroPDF417のメッセージ長	最小 (1 ~ 366) *1	MPDMIN####	6-33
	最大 (1 ~ 366) *366	MPDMAX####	6-33
GS1 コンポジット コード	オン	COMENA1	6-33
	*オフ	COMENA0	6-33
UPC/EANのバージョン	オン	COMUPC1	6-34
	*オフ	COMUPC0	6-34
GS1 コンポジット コードのメッセージ長	最小 (1 ~ 2435) *1	COMMIN####	6-34
	最大 (1 ~ 2435) *2435	COMMAX####	6-34
GS1 エミュレーション	GS1-128 エミュレーション	EANEMU1	6-34
	GS1 DataBar エミュレーション	EANEMU2	6-35
	GS1 コード拡張 オフ	EANEMU3	6-35
	EAN-8をEAN-13に変換	EANEMU4	6-35
	*GS1 エミュレーション オフ	EANEMU0	6-35
TCIF Linked Code 39	オン	T39ENA1	6-35
	*オフ	T39ENA0	6-35
QRコード	QRコードのすべての設定を初期化	QRCDFT	6-40

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアル コマンド #は数値入力を示す	ページ
	*オン	QRCENA1	6-35
	オフ	QRCENA0	6-35
QRコードのメッセージ長	最小 (1 ~ 7089) *1	QRCMIN####	6-36
	最大 (1 ~ 7089) *7089	QRCMAX####	6-36
QRコードの連結	*オン	QRCAPP1	6-36
	オフ	QRCAPP0	6-36
QRコード ページ	QRコード ページ (*3)	QRDCP##	6-36
Data Matrix	Data Matrixのすべての設定を初期化	IDMDFT	6-37
	*オン	IDMENA1	6-37
	オフ	IDMENA0	6-37
Data Matrixのメッセージ長	最小 (1 ~ 3116) *1	IDMMIN####	6-37
	最大 (1 ~ 3116) *3116	IDMMAX####	6-37
Data Matrixの連結	*オン	IDMAPP1	6-37
	オフ	IDMAPPO	6-37
Data Matrixのコード ページ	Data Matrixのコード ページ (*51)	IDMDCP##	6-38
MaxiCode	MaxiCodeのすべての設定を初期化	MAXDFT	6-38
	オン	MAXENA1	6-38
	*オフ	MAXENA0	6-38
MaxiCodeのメッセージ長	最小 (1 ~ 150) *1	MAXMIN###	6-38
	最大 (1 ~ 150) *150	MAXMAX###	6-38
Aztecコード	Aztecコードのすべての設定を初期化	AZTDFT	6-39
	*オン	AZTENA1	6-39
	オフ	AZTENA0	6-39
Aztecコードのメッセージ長	最小 (1 ~ 3832) *1	AZTMIN####	6-39
	最大 (1 ~ 3832) *3832	AZTMAX####	6-39
Aztecの連結	オン	AZTAPP1	6-39
	*オフ	AZTAPP0	6-39
Aztecのコード ページ	Aztecのコード ページ (*51)	AZTDCP##	6-40
Chinese Sensible (Han Xin) コード	Han Xinコードのすべての設定を初期化	HX_DFT	6-40
	オン	HX_ENA1	6-40
	*オフ	HX_ENA0	6-40
Chinese Sensible (Han Xin) コードの メッセージ長	最小 (1 ~ 7833) *1	HX_MIN####	6-40
	最大 (1 ~ 7833) *7833	HX_MAX####	6-40
郵便コード (線形)			
China Post (Hong Kong 2 of 5)	China Post (Hong Kong 2 of 5) のすべての設定 を初期化	CPCDFT	6-45
	*オフ	CPCENA0	6-45
	オン	CPCENA1	6-45
China Post (Hong Kong 2 of 5) のメッ セージ長	最小 (2 ~ 80) *4	CPCMIN##	6-45
	最大 (2 ~ 80) *80	CPCMAX##	6-46
Korea Post	Korea Postのすべての設定を初期化	KPCDFT	6-46
	*オフ	KPCENA0	6-46
	オン	KPCENA1	6-46

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアル コマンド #は数値入力を示す	ページ
Korea Postのメッセージ長	最小 (2~80) *4	KPCMIN##	6-46
	最大 (2~80) *48	KPCMAX##	6-46
Korea Postのチェック デジット	チェック デジットを送信	KPCCHK1	6-46
	*チェック デジットを送信しない	KPCCHK0	6-46
郵便コード (2D)			
2D郵便コード	*オフ	POSTAL0	6-46
2D郵便コード (単独)	Australian Postオン	POSTAL1	6-41
	British Postオン	POSTAL7	6-41
	Canadian Postオン	POSTAL30	6-41
	Intelligent Mail/バーコード オン	POSTAL10	6-41
	日本郵便オン	POSTAL3	6-41
	KIX Postオン	POSTAL4	6-41
	Planet Codeオン	POSTAL5	6-41
	Postal-4iオン	POSTAL9	6-41
	Postnetオン	POSTAL6	6-42
	Postnet BおよびB' フィールド オン	POSTAL11	6-42
	InfoMailオン	POSTAL2	6-42
2D郵便コード (組み合わせ)	InfoMailとBritish Postオン	POSTAL8	6-42
	Intelligent Mail/バーコードとPostnet BおよびB' フィールド オン	POSTAL20	6-42
	PostnetとPostal-4iオン	POSTAL14	6-42
	PostnetとIntelligent Mail/バーコード オン	POSTAL16	6-42
	Postal-4iとIntelligent Mail/バーコード オン	POSTAL17	6-42
	Postal-4iとPostnet BおよびB' フィールド オン	POSTAL19	6-42
	PlanetとPostnetオン	POSTAL12	6-42
	PlanetとPostnet BおよびB' フィールド オン	POSTAL18	6-43
	PlanetとPostal-4iオン	POSTAL13	6-43
	PlanetとIntelligent Mail/バーコード オン	POSTAL15	6-43
	Planet、Postnet、Postal-4iオン	POSTAL21	6-43
	Planet、Postnet、Intelligent Mail/バーコード オン	POSTAL22	6-43
	Planet、Postal-4i、Intelligent Mail/バーコード オン	POSTAL23	6-43
	Postnet、Postal-4i、Intelligent Mail/バーコード オン	POSTAL24	6-43
	Planet、Postal-4i、Postnet BおよびB' フィールド オン	POSTAL25	6-43
	Planet、Intelligent Mail/バーコード、Postnet BおよびB' フィールド オン	POSTAL26	6-43
	Postal-4i、Intelligent Mail/バーコード、Postnet BおよびB' フィールド オン	POSTAL27	6-43
Planet、Postal-4i、Intelligent Mail/バーコード、Postnetオン	POSTAL28	6-44	

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアル コマンド #は数値入力を示す	ページ
	Planet、Postal-4i、Intelligent Mail/バーコード、Postnet BおよびB' フィールド オン	POSTAL29	6-44
Planet Codeのチェック デジット	送信	PLNCKX1	6-44
	*送信しない	PLNCKX0	6-44
Postnetのチェック デジット	送信	NETCKX1	6-44
	*送信しない	NETCKX0	6-44
Australian Postの解釈	バー出力	AUSINT0	6-45
	数字Nテーブル	AUSINT1	6-45
	英数字Cテーブル	AUSINT2	6-45
	NおよびCテーブルの組み合わせ	AUSINT3	6-45
ユーティリティ			
すべての読み取りコードへのコードIDプレフィックスの追加 (一時的)		PRECA2,BK2995C80!	7-1
デコーダーのリビジョンの表示		REV_DR	7-1
スキャンドライバのリビジョンの表示		REV_SD	7-1
ソフトウェアのリビジョンの表示		REVINF	7-1
データ フォーマットの表示		DFMBK3?	7-1
工場出荷時設定へのリセット	カスタム初期設定の削除	DEFOVR	7-3
	初期設定の有効化	DEFAULT	7-3

製品仕様

HP Engage One 2Dバーコード スキャナー 製品仕様

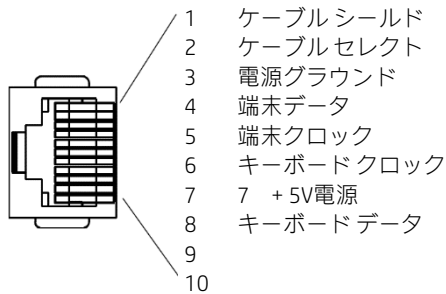
パラメーター	仕様
機械的仕様	
高さ	82 mm (3.23 in.)
長さ	62 mm (2.45 in.)
幅	169 mm (6.65 in.)
質量	130 g
電氣的仕様	
入力電圧	4.0 ~ 5.5V DC
動作時消費電力	2 W (400 mA @ 5V DC)
待機時消費電力	0.45 W (90 mA @ 5V DC)
照明LED	白色発光
照準	624 nmピーク波長
環境規格	
動作温度	0° C ~ 40° C
保管温度	-20° C ~ 60° C
湿度	5 ~ 95% (結露なし)
耐落下	1.5 mの高さからコンクリート面へ30回落下後に動作すること
環境シーリング	IP40
照度	0 ~ 100,000ルクス
ESD	15kV気中放電、8kV直接放電
イメージ	
イメージサイズ	640 x 480ピクセル
スキャン性能	
ピッチ、スキュー	± 60°、 ± 70°
モーショントレランス： プレゼンテーションモード	最大10 cm/秒 (13 mil UPC)
読み取りコードのコントラスト	35%
被写界深度	
標準性能	
5 mil Code 39	45 ~ 107 mm (1.8 - 4.2 in.)
13 mil UPC-A	37 ~ 260 mm (1.4 - 10.2 in.)
20 mil Code 39	42 ~ 360 mm (1.6 - 14.2 in.)
6.7 mil PDF417	42 ~ 107 mm (1.6 - 4.2 in.)
10 mil Data Matrix	42 ~ 107 mm (1.6 - 4.2 in.)
20 mil QRコード	32 ~ 210 mm (1.2 - 8.3 in.)
保証性能	
5 mil Code 39	57 ~ 102 mm (2.2 - 4.0 in.)
13 mil UPC-A	41 ~ 207 mm (1.6 - 8.1 in.)
20 mil Code 39	45 ~ 300 mm (1.8 - 11.8 in.)
6.7 mil PDF417	45 ~ 100 mm (1.8 - 3.9 in.)
10 mil Data Matrix	50 ~ 98 mm (2.0 - 3.8 in.)
20 mil QRコード	35 ~ 190 mm (1.4 - 7.5 in.)

ケーブルの標準のピン配列

注：以下のピン配列はHPの従来製品と互換性がありません。不適切なピン配列のケーブルを使用するとユニットが損傷する可能性があります。製造元が提供しているものではないケーブルを使用したことによる損傷は保証対象となりません。

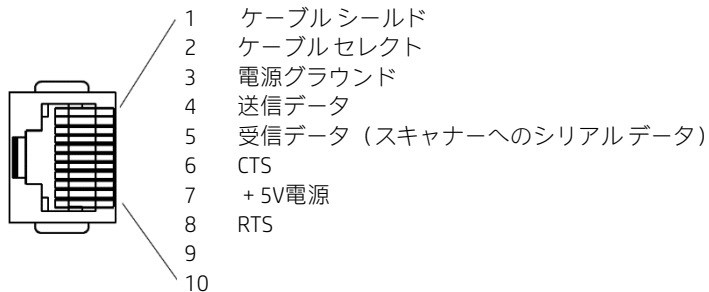
キーボード ウェッジ

10ピンRJ41モジュラー プラグ



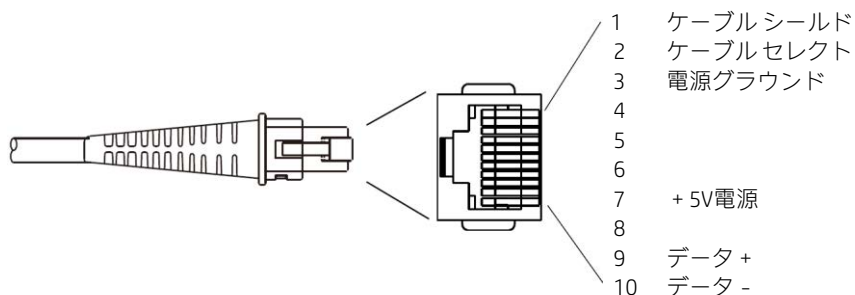
シリアル出力

10ピンRJ41モジュラー プラグ



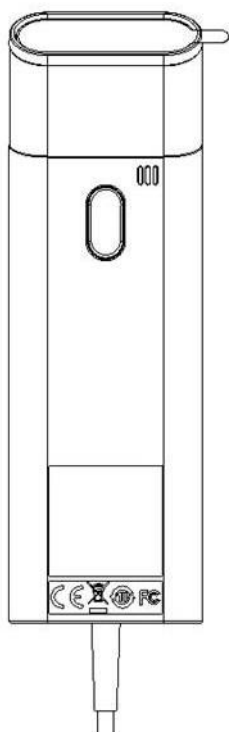
USB

10ピン モジュラー プラグ



必要な安全ラベル

HP Engage One 2Dバーコード スキャナー





メンテナンスとトラブルシューティング

修理

この製品を修理したりアップグレードを行ったりしないでください。これらのサービスは必ず正規のサービス センターで受けてください。

メンテナンス

このデバイスは、最小限のお手入れで動作の信頼性および効率を保つことができます。特別なメンテナンスは不要ですが、以下の定期点検によって動作の信頼性を確保できます。

デバイスの清掃

スキャナーのウィンドウが汚れていると、読み取り性能が低下することがあります。ウィンドウの汚れが目立つ場合や、スキャナーが正常に動作しない場合は、柔らかい布またはレンズ用ティッシュを水（または水で薄めた中性洗剤）で湿らせてウィンドウを拭いてください。洗剤を使用した場合は、水だけで湿らせたきれいなレンズ用ティッシュで拭き取ってください。

スキャナーおよびベースの筐体も同じ方法で清掃できます。



注意：

スキャナーを水に浸けないでください。
スキャナーの筐体に耐水性はありません。

研磨剤入りの布やティッシュでスキャナーのウィンドウを拭かないでください。研磨剤によってウィンドウに傷がつくことがあります。筐体や窓に溶剤（アルコールやアセトンなど）を決して使用しないでください。溶剤によって表面やウィンドウが損傷することがあります。

ケーブルおよびコネクタの点検

インターフェイス ケーブルおよびコネクタに摩耗や損傷の痕跡がないか点検してください。ケーブルの摩耗やコネクタの損傷がひどい場合は、スキャナーの動作が妨げられることがあります。ケーブル交換については、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

コード付きスキャナーのケーブル交換

標準インターフェイス ケーブルは10ピンのモジュラー コネクタでスキャナーに接続されています。インターフェイス ケーブルは現場で交換できないため、サポート窓口に戻却して交換する必要があります。

コード付きスキャナーのトラブルシューティング

スキャナーは電源投入時に自己診断を自動的に実行します。お使いのスキャナーが正常に機能していない場合は、以下のトラブルシューティング ガイドに従って問題を特定してみてください。

電源は入っていますか？ 照準はオンになっていますか？

照準が点灯していない場合は、以下の点を確認してください。

- ケーブルが正しく接続されていること。
- ホスト システムの電源が入っていること（外部電源を使用していない場合）。
- トリガーが動作すること。

スキャナーで読み取りコードの読み取りに問題がありますか?

スキャナーが読み取りコードを正しく読み取らない場合は、スキャナーのウィンドウが汚れていないことを確認し、読み取りコードについて以下の点を確認してください。

- 読み取りコードに汚れ、ざらつき、傷、または読み取りを妨げるような欠けがないこと。
- 読み取りコードの表面に霜や水滴が付いていないこと。
- 読み取りコードがスキャナーまたはスキャナーの接続先のデコーダーで有効になっていること。

バーコードが表示されているのに入力されませんか?

バーコードがホスト デバイスで正しく表示されても、入力するにはさらにキーを押す必要があります（[Enter]/[Return]キーや[Tab]キーなど）。

- サフィックスをプログラムする必要があります。サフィックスをプログラムすると、スキャナーがバーコード データおよび必要なキー（「CR」など）を出力して、アプリケーションにデータを入力できます。詳しくは、4-1ページ以降の「[プレフィックス/サフィックスの概要](#)」を参照してください。

スキャナーがバーコードをまったく読み取らない

- このガイドの裏にあるサンプル バーコードをスキャンします。サンプル バーコードを読み取れる場合は、お使いのバーコードが判読可能であること確認してください。
お使いのバーコードの読み取りコードが有効になっていることを確認してください（[第6章](#)を参照してください）。

サンプルバーコードを読み取れない場合は、[\[すべての読み取りコード\]](#)（6-1ページ）をスキャンします。

スキャナーに設定されているプログラミング オプションが不明の場合、または工場出荷時の設定を復元したい場合は、8-3ページの「[カスタム初期設定へのリセット](#)」を参照してください。

リファレンス表

読み取りコード表

注：「m」はAIM修飾文字を表します。AIM修飾文字について詳しくは、国際技術仕様書を参照してください。

特定の読み取りコードのプレフィックス/サフィックス エントリは、ユニバーサル（すべての読み取りコード、99）エントリをオーバーライドします。

コードIDおよびAIM IDの使用方法については、4-1ページ以降の「[データ編集](#)」および5-1ページ以降の「[データフォーマット](#)」を参照してください。

線形読み取りコード

読み取りコード	AIM		Honeywell	
	ID	使用できる修飾文字 (m)	ID	16進
すべての読み取りコード				99
Codabar]Fm	0~1	a	61
Code 11]H3		h	68
Code 128]Cm	0、1、2、4	j	6A
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)]X0		<	3C
Code 39 (Full ASCIIモードをサポート)]Am	0、1、3、4、5、7	b	62
TCIF Linked Code 39 (TLC39)]L2		T	54
Code 93および93i]Gm	0~9、A~Z、 a~m	i	69
EAN]Em	0、1、3、4	d	64
EAN-13 (Bookland EANを含む)]E0		d	64
アドオン付きEAN-13]E3		d	64
拡張クーポンコード付きEAN-13]E3		d	64
EAN-8]E4		D	44
アドオン付きEAN-8]E3		D	44
GS1				
GS1 DataBar]em	0	y	79
GS1 DataBar Limited]em		{	7B
GS1 DataBar Expanded]em		}	7D
GS1-128]C1		l	49
2 of 5				
China Post (Hong Kong 2 of 5)]X0		Q	51
Interleaved 2 of 5]Im	0、1、3	e	65
Matrix 2 of 5]X0		m	6D
NEC 2 of 5]X0		Y	59
Straight 2 of 5 IATA]Rm	0、1、3	f	66
Straight 2 of 5 Industrial]S0		f	66
MSI]Mm	0、1	g	67
UPC		0、1、2、3、8、9、A、 B、C		
UPC-A]E0		c	63

読み取りコード	AIM		Honeywell	
	ID	使用できる修飾文字 (m)	ID	16進
アドオン付きUPC-A]E3		c	63
拡張クーポンコード付きUPC-A]E3		c	63
UPC-E]E0		E	45
アドオン付きUPC-E]E3		E	45
UPC-E1]X0		E	45

HoneywellコードIDの追加				5C80
AIMコードIDの追加				5C81
バックスラッシュの追加				5C5C
バッチモード数			5	35

2D読み取りコード

読み取りコード	AIM		Honeywell	
	ID	使用できる修飾文字 (m)	ID	16進
すべての読み取りコード				99
Aztecコード]zm	0~9、A~C	z	7A
Chinese Sensibleコード (Han Xinコード)]X0		H	48
Codablock A]06	0、1、4、5、6	V	56
Codablock F]0m	0、1、4、5、6	q	71
Code 49]Tm	0、1、2、4	l	6C
Data Matrix]dm	0~6	w	77
GS1]em	0~3	y	79
GS1コンポジット]em	0~3	y	79
GS1 DataBar Omnidirectional]em	0~3	y	79
MaxiCode]Um	0~3	x	78
PDF417]Lm	0~2	r	72
MicroPDF417]Lm	0~5	R	52
QRコード]Qm	0~6	s	73
Micro QR Code]Qm		s	73

郵便読み取りコード

読み取りコード	AIM		Honeywell	
	ID	使用できる修飾文字 (m)	ID	16進
すべての読み取りコード				99
Australian Post]X0		A	41
British Post]X0		B	42

読み取りコード	AIM		Honeywell	
	ID	使用できる修飾文字 (m)	ID	16進
Canadian Post]X0		C	43
China Post]X0		Q	51
InfoMail]X0		,	2c
Intelligent Mail/バーコード]X0		M	4D
日本郵便]X0		J	4A
KIX (オランダ) Post]X0		K	4B
Korea Post]X0		?	3F
Planet Code]X0		L	4C
Postal-4i]X0		N	4E
Postnet]X0		P	50

ASCII変換表 (コード ページ1252)

キーボード アプリケーションでは、ASCII制御文字は以下に示すように、3つの異なる方法で表されます。CTRL + X機能はOSおよびアプリケーションによって異なります。以下の表に、よく使用されるMicrosoftの一部の機能を示します。この表は、米国式キーボードに適用されます。一部の文字は、国コードまたはPCの地域設定によって異なる場合があります。

印刷できないASCII制御文字			キーボード Control + ASCII (CTRL + X) モード		
10進	16進数	文字	Control + Xモード オフ (KBDCAS0)	Windowsモード Control + Xモード オン (KBDCAS2)	
				CTRL + X	CTRL + X機能
0	00	NUL	予約済み	CTRL + @	
1	01	SOH	NP Enter	CTRL + A	すべて選択
2	02	STX	Caps Lock	CTRL + B	太字
3	03	ETX	ALT Make	CTRL + C	コピー
4	04	EOT	ALT Break	CTRL + D	ブックマーク
5	05	ENQ	CTRL Make	CTRL + E	中央揃え
6	06	ACK	CTRL Break	CTRL + F	検索
7	07	BEL	Enter / Ret	CTRL + G	
8	08	BS	(Apple Make)	CTRL + H	履歴
9	09	HT	Tab	CTRL + I	斜体
10	0A	LF	(Apple Break)	CTRL + J	両端揃え
11	0B	VT	Tab	CTRL + K	ハイパーリンク
12	0C	FF	Delete	CTRL + L	リスト、左揃え
13	0D	CR	Enter / Ret	CTRL + M	
14	0E	SO	Insert	CTRL + N	新規
15	0F	SI	ESC	CTRL + O	開く
16	10	DLE	F11	CTRL + P	印刷
17	11	DC1	Home	CTRL + Q	終了
18	12	DC2	PrtScn	CTRL + R	
19	13	DC3	BackSpace	CTRL + S	保存
20	14	DC4	Back Tab	CTRL + T	
21	15	NAK	F12	CTRL + U	
22	16	SYN	F1	CTRL + V	貼り付け
23	17	ETB	F2	CTRL + W	
24	18	CAN	F3	CTRL + X	

印刷できないASCII制御文字			キーボード Control + ASCII (CTRL + X) モード		
10進	16進数	文字	Control + Xモード オフ (KBDCAS0)	Windowsモード Control + Xモード オン (KBDCAS2)	
				CTRL + X	CTRL + X機能
25	19	EM	F4	CTRL + Y	
26	1A	SUB	F5	CTRL + Z	
27	1B	ESC	F6	CTRL + [
28	1C	FS	F7	CTRL + \	
29	1D	GS	F8	CTRL +]	
30	1E	RS	F9	CTRL + ^	
31	1F	US	F10	CTRL + -	
127	7F	?	NP Enter		

下位のASCII参照表

注：Windowsコード ページ1252および下位のASCIIは、同じ文字を使用します。

印刷可能文字								
10進	16進数	文字	10進	16進数	文字	10進	16進数	文字
32	20	<スペース>	64	40	@	96	60	`
33	21	!	65	41	A	97	61	a
34	22	"	66	42	B	98	62	b
35	23	#	67	43	C	99	63	c
36	24	\$	68	44	D	100	64	d
37	25	%	69	45	E	101	65	e
38	26	&	70	46	F	102	66	f
39	27	'	71	47	G	103	67	g
40	28	(72	48	H	104	68	h
41	29)	73	49	I	105	69	i
42	2A	*	74	4A	J	106	6A	j
43	2B	+	75	4B	K	107	6B	k
44	2C	,	76	4C	L	108	6C	l
45	2D	-	77	4D	M	109	6D	m
46	2E	.	78	4E	N	110	6E	n
47	2F	/	79	4F	O	111	6F	o
48	30	0	80	50	P	112	70	p
49	31	1	81	51	Q	113	71	q
50	32	2	82	52	R	114	72	r
51	33	3	83	53	S	115	73	s
52	34	4	84	54	T	116	74	t
53	35	5	85	55	U	117	75	u
54	36	6	86	56	V	118	76	v
55	37	7	87	57	W	119	77	w
56	38	8	88	58	X	120	78	x
57	39	9	89	59	Y	121	79	y
58	3A	:	90	5A	Z	122	7A	z
59	3B	;	91	5B	[123	7B	{
60	3C	<	92	5C	\	124	7C	
61	3D	=	93	5D]	125	7D	}
62	3E	>	94	5E	^	126	7E	~
63	3F	?	95	5F	_	127	7F	?

拡張ASCII文字					
10進	16進数	CP 1252	ASCII	代替拡張	PS2スキャンコード
128	80	€	Ç	上向き矢印?	0x48
129	81		ü	下向き矢印?	0x50
130	82	,	é	右向き矢印?	0x4B
131	83	f	â	左向き矢印?	0x4D
132	84	„	ä	Insert	0x52
133	85	…	à	Delete	0x53
134	86	†	å	Home	0x47
135	87	‡	ç	End	0x4F
136	88	^	è	Page Up	0x49
137	89	%	ë	Page Down	0x51
138	8A	Š	è	右のALT	0x38
139	8B	<	ì	右のCTRL	0x1D
140	8C	Œ	î	予約済み	n/a
141	8D		ï	予約済み	n/a
142	8E	Ž	Ä	テンキーのEnter	0x1C
143	8F		Å	テンキーの/	0x35
144	90		É	F1	0x3B
145	91	‘	æ	F2	0x3C
146	92	’	Æ	F3	0x3D
147	93	“	ó	F4	0x3E
148	94	”	ö	F5	0x3F
149	95	•	ò	F6	0x40
150	96	–	ù	F7	0x41
151	97	—	û	F8	0x42
152	98	˜	ÿ	F9	0x43
153	99	™	Ö	F10	0x44
154	9A	š	Ü	F11	0x57
155	9B	>	ƒ	F12	0x58
156	9C	œ	£	テンキーの+	0x4E
157	9D		¥	テンキーの—	0x4A
158	9E	ž	?	テンキーの*	0x37
159	9F	ÿ	f	Caps Lock	0x3A
160	A0		á	Num Lock	0x45
161	A1	¡	í	左のALT	0x38
162	A2	¢	ó	左のCtrl	0x1D
163	A3	£	ú	左のShift	0x2A
164	A4	¤	ñ	右のShift	0x36
165	A5	¥	Ñ	Print Screen	n/a
166	A6	¦	ª	Tab	0x0F
167	A7	§	º	Shift Tab	0x8F
168	A8	¨	¿	Enter	0x1C
169	A9	©	?	Esc	0x01
170	AA	ª	¬	ALT Make	0x36
171	AB	«	½	ALT Break	0xB6
172	AC	¬	¼	Control Make	0x1D
173	AD		¡	Control Break	0x9D
174	AE	®	«	1文字を含むAltシーケンス	0x36
175	AF	ˆ	»	1文字を含むCtrlシーケンス	0x1D

拡張ASCII文字 (続き)

10進	16進数	CP 1252	ASCII	代替拡張	PS2スキャンコード
176	B0	°	?		
177	B1	±	?		
178	B2	²	?		
179	B3	³	?		
180	B4	´	?		
181	B5	μ	?		
182	B6	¶	?		
183	B7	·	?		
184	B8	,	?		
185	B9	1	?		
186	BA	º	?		
187	BB	»	?		
188	BC	¼	?		
189	BD	½	?		
190	BE	¾	?		
191	BF	¿	?		
192	C0	À	?		
193	C1	Á	?		
194	C2	Â	?		
195	C3	Ã	?		
196	C4	Ä	?		
197	C5	Å	í		
198	C6	Æ	?		
199	C7	Ç	?		
200	C8	È	?		
201	C9	É	?		
202	CA	Ê	?		
203	CB	Ë	?		
204	CC	Ì	?		
205	CD	Í	?		
206	CE	Î	?		
207	CF	Ï	?		
208	D0	Ð	?		
209	D1	Ñ	?		
210	D2	Ò	?		
211	D3	Ó	?		
212	D4	Ô	?		
213	D5	Õ	?		
214	D6	Ö	?		
215	D7	×	?		
216	D8	Ø	?		
217	D9	Ù	?		
218	DA	Ú	?		
219	DB	Û	?		
220	DC	Ü	?		
221	DD	Ý	?		
222	DE	Þ	?		
223	DF	ß	?		

拡張ASCII文字（続き）

10進	16進数	CP 1252	ASCII	代替拡張	PS2スキャンコード
224	E0	à	?		
225	E1	á	ß		
226	E2	â	?		
227	E3	ã	?		
228	E4	ä	?		
229	E5	å	?		
230	E6	æ	μ		
231	E7	ç	?		
232	E8	è	?		
233	E9	é	?		
234	EA	ê	?		
235	EB	ë	?		
236	EC	ì	?		
237	ED	í	?		
238	EE	î	?		
239	EF	ï	?		
240	F0	ð	?		
241	F1	ñ	±		
242	F2	ò	?		
243	F3	ó	?		
244	F4	ô	?		
245	F5	õ	?		
246	F6	ö	÷		
247	F7	÷	?		
248	F8	ø	°		
249	F9	ù	?		
250	FA	ú	·		
251	FB	û	?		
252	FC	ü	?		
253	FD	ý	²		
254	FE	þ	?		
255	FF	ÿ			

ISO 2022/ISO 646の文字置換

コード ページは、文字コードから文字へのマッピングを定義します。受信したデータが適切な文字で表示されない場合、スキャンされたバーコードは、ホスト プログラムが想定しているものとは異なるコード ページを使用して作成された可能性があります。その場合は、バーコードの作成に使われたコード ページを選択します。データの文字が正しく表示されるようになります。

コード ページの選択方法/国	標準	キーボードの言語	Honeywellコード ページ オプション
米国（標準のASCII）	ISO/IEC 646-IRV	n/a	1
各国語文字の自動置換	ISO/IEC 2022	n/a	2（初期設定）
2進コード ページ	n/a	n/a	3
初期設定の「各国語文字の自動置換」では、Code128、Code 39、およびCode 93に対して以下のHoneywellコード ページ オプションが選択されます。			
米国	ISO/IEC 646-06	0	1
カナダ	ISO /IEC 646-121	54	95

コードページの選択方法/国	標準	キーボードの言語	Honeywellコードページオプション
カナダ	ISO /IEC 646-122	18	96
日本	ISO/IEC 646-14	28	98
中国	ISO/IEC 646-57	92	99
英国 (UK)	ISO /IEC 646-04	7	87
フランス	ISO /IEC 646-69	3	83
ドイツ	ISO/IEC646-21	4	84
スイス	ISO /IEC 646-CH	6	86
スウェーデン/フィンランド (拡張Annex C)	ISO/IEC 646-11	2	82
アイルランド	ISO /IEC 646-207	73	97
デンマーク	ISO/IEC 646-08	8	88
ノルウェー	ISO/IEC 646-60	9	94
イタリア	ISO/IEC 646-15	5	85
ポルトガル	ISO/IEC 646-16	13	92
スペイン	ISO/IEC 646-17	10	90
スペイン	ISO/IEC 646-85	51	91

10進			35	36	64	91	92	93	94	96	123	124	125	126
16進			23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
US	0	1	#	\$	@	[\]	^	`	{		}	~
CA	54	95	#	\$	à	â	ç	ê	î	ô	é	ù	è	û
CA	18	96	#	\$	à	â	ç	ê	É	ô	é	ù	è	û
JP	28	98	#	\$	@	[¥]	^	`	{		}	?
CN	92	99	#	¥	@	[\]	^	`	{		}	?
GB	7	87	£	\$	@	[\]	^	`	{		}	~
FR	3	83	£	\$	à	°	ç	§	^	µ	é	ù	è	..
DE	4	84	#	\$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
CH	6	86	ù	\$	à	é	ç	ê	î	ô	ä	ö	ü	û
SE/FI	2	82	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
DK	8	88	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
NO	9	94	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	_
IE	73	97	£	\$	Ó	É	Í	Ú	Á	ó	é	í	ú	á
IT	5	85	£	\$	§	°	ç	é	^	ù	à	ò	è	ì
PT	13	92	#	\$	§	Ã	Ç	Õ	^	`	ã	ç	õ	°
ES	10	90	#	\$	§	í	Ñ	¿	^	`	°	ñ	ç	~
ES	51	91	#	\$	·	í	Ñ	Ç	¿	`	·	ñ	ç	..
国	国別キーボード	Honeywellコードページ	ISO/IEC 646各国語文字の置換											

Unicodeキー マップ

6E 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 7A 7B	7C 7D 7E	
01 02 03 04 05 06 07 08 09 0A 0B 0C 0D 0F	4B 50 55	5A 5F 64 69
10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1A 1B 1C 1D	4C 51 56	5B 60 65 6A
1E 1F 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2B		5C 61 66
2C 2E 2F 30 31 32 33 34 35 36 37 39	53	5D 62 67
3A 3B 3C 3D 3E 3F 38 40	4F 54 59	63 68 6C

104キー米国式キーボード

6E 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 7A 7B	7C 7D 7E	
01 02 03 04 05 06 07 08 09 0A 0B 0C 0D 0F	4B 50 55	5A 5F 64 69
10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1A 1B 1C 2B	4C 51 56	5B 60 65 6A
1E 1F 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A		5C 61 66
2C 2D 2E 2F 30 31 32 33 34 35 36 37 39	53	5D 62 67
3A 3B 3C 3D 3E 3F 38 40	4F 54 59	63 68 6C

105キー欧州式キーボード



読み取りコードの例

UPC-A



0 123456 7890

Interleaved 2 of 5



1234567890

EAN-13



9 780330 290951

Code 128



Code 128

Code 39



BC321

Codabar



A13579B

Code 93



123456-9\$

Straight 2 of 5 Industrial



123456

Matrix 2 of 5



6543210

GS1 DataBar



(01)00123456789012

PDF417



車両登録

Data Matrix



テスト読み取りコード

QRコード



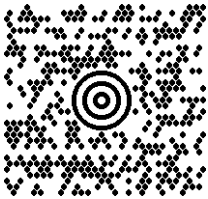
数値

Aztec



パッケージラベル

MaxiCode



テストメッセージ

Micro PDF417



テストメッセージ

Postnet



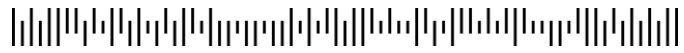
郵便番号

4-CB (4-State Customer Bar Code)



01,234,567094,987654321,01234567891

ID-tag (UPU 4-State)



J18CUSA8E6N062315014880T

プログラミングチャート



K0K

0



K2K

2



K4K

4



K6K

6



K8K

8



K1K

1



K3K

3



K5K

5



K7K

7



K9K

9

プログラミングチャート



KAK

A



KCK

C



KEK

E



MNUSAV.

保存



RESET_.

リセット



KBK

B



KDK

D



KFK

F



MNUABT.

破棄

注：文字または数字のスクランを間違えた場合は（[保存]をスクランする前に）、[破棄]をスクランしてから、正しい文字または数字をもう一度スクランし、[保存]をスクランしてください。
